

## 東松山市立小・中学校通学区域審議会資料

日時：平成24年10月24日（水）

午後7時～9時

場所：高坂丘陵市民活動センター

ミーティングルーム

## 東松山市教育委員会資料

- 1 次第
- 2 諮問書の写し
- 3 参考資料1
- 4 参考資料2
- 5 参考資料3
- 6 委員名簿
- 7 今までの経過と今後の予定について
- 8 通学区域審議会条例
- 9 現行通学区域地図

## 高坂小学校PTA本部提出資料

- 1 児童生徒数の推移
- 2 平成24年9月24日付高坂小学校PTA  
通学区域見直しアンケート回答内容一覧
- 3 「高坂小通学区域見直し説明会」議事録
- 4 鶴ヶ島市立小・中学校学区審議会 開催状況

※4の資料については、鶴ヶ島市ホームページを参照ください。

## 東松山市立小・中学校通学区域審議会次第

日時：平成24年10月24日（水）

午後7時～9時

場所：高坂丘陵市民活動センター

ミーティングルーム

1 開 会

2 委嘱状の交付

3 あいさつ

4 会長・副会長選出

5 議 事

(1) 高坂小学校・桜山小学校及び南中学校・白山中学校の通学区域の変更について

① 諮問内容について

② 通学区域の変更について

6 そ の 他

7 閉 会



東松教学発第 0910016 号

平成 24 年 9 月 28 日

東松山市立小・中学校  
通学区域審議会会長 様

東松山市教育委員会  
委員長 金子 伸行



高坂小学校・桜山小学校及び南中学校・白山中学校の通学区域の変更  
について（諮問）

このことについて、東松山市立小・中学校通学区域審議会条例第 2 条第 1 項の規定により、下記のとおり諮問します。

#### 記

##### ○諮問理由

高坂駅東口土地区画整理事業に伴う高坂小学校の今後の児童数の増加が見込まれ、いずれは教室が足りなくなることが想定されること、及び桜山小学校と白山中学校の小規模化が今後も見込まれる状況であることから、高坂小学校・桜山小学校及び南中学校・白山中学校の通学区域の変更について、貴審議会の意見（答申）を求めます。

##### 参考資料

1. 高坂小学校区及び桜山小学校区内 600 世帯を対象としたアンケート調査結果
2. 高坂小学校・桜山小学校及び南中学校・白山中学校の教職員を対象としたアンケート調査結果
3. 高坂小学校・桜山小学校及び南中学校・白山中学校の今後の児童・生徒数の見込み

高坂小学校・桜山小学校及び南中学校・白山中学校  
の通学区域の見直しについてのアンケート調査結果

平成 24 年 8 月  
東松山市教育委員会

## 調査の概要

### (1) 調査目的

高坂駅東口土地区画整理事業に伴う高坂小学校の今後の児童数の増加が見込まれ、いずれは教室が足りなくなることが想定されること、及び桜山小学校と白山中学校の小規模化が今後も見込まれることへの対応策として、通学区域の見直しについて、地域の皆様のお考えを把握し、通学区域を検討する際の参考とするため実施いたしました。

### (2) 調査対象者及び調査方法等

調査対象	高坂小学校区及び桜山小学校区内の世帯
標本数	600（高坂小学校区300、桜山小学校区300）
抽出法	住民基本台帳に基づく無作為抽出
調査方法	郵送配布—郵送回収
調査期間	平成24年5月10日（木）～5月31日（木）

### (3) 回収結果

配布数	600
有効回収数	350
有効回収率	58.3%

問1 あなたがいまお住まいの地区の番号を○で囲んでください。

地区名	大字高坂	大字早俣	大字正代	大字宮鼻	大字毛塚	大字田木	大字岩殿
件数	23	7	13	12	20	21	23

大字西本宿	大字大黒部	元宿1丁目	元宿2丁目	あずま町1丁目	あずま町2丁目	あずま町3丁目
30	2	14	22	8	5	0

あずま町4丁目	桜山台	白山台	旗立台	松風台	無回答	計
0	38	21	33	45	13	350

問2 あなたの世帯に、高坂小学校、桜山小学校、南中学校、又は白山中学校に在学している方がいますか。また、卒業された方やこれから小学校に入学される方がいますか。該当する番号を○で囲んでください。あわせて在学している学校名あるいはこれから入学する学校名を○で囲んでください。

	件数	割合(%)
1 小学生がいる (高坂小、桜山小)	36	9.0
①高坂小	25	6.3
②桜山小	11	2.7
2 中学生がいる (南中、白山中)	17	4.3
①南中	8	2.0
②白山中	9	2.3
3 小学生、中学生ともにいる (高坂小、桜山小、南中、白山中)	11	2.8
①高坂小・南中	3	0.8
②桜山小・白山中	8	2.0
4 卒業生がいる	189	47.4
5 これから小学校に入学する子ども がいる(高坂小、桜山小)	54	13.5
①高坂小	39	9.8
②桜山小	15	3.7
6 いない	79	19.8
7 無回答	13	3.2
全体	399	100.0

問3 通学区域の見直しについてのお考えの番号を○で囲んでください。

	件数	割合(%)
1 桜山小学校、白山中学校の小規模化にも対応できるので、高坂小学校の通学区域の一部を桜山小学校に組み入れるように変更した方がよい	270	73.2
2 通学区域は現在のままでよい。高坂小学校の教室不足はプレハブ校舎を建築して対応すればよい	37	10.0
3 その他(具体的にお書きください) ※回答内容は別紙、回答内容一覧参照	36	9.8
4 無回答	26	7.0
全体	369	100.0

問4 問3で「桜山小学校、白山中学校の小規模化にも対応できるので、高坂小学校の通学区域の一部を桜山小学校に組み入れるように変更した方がよい。」に○をつけられた方にお聞きします。  
組み入れるにあたっての配慮事項についてのお考えの番号を○で囲んでください。

	件数	割合(%)
1 変更する初年度に限り、本人・保護者の意向を尊重する	127	43.9
2 配慮事項は設けなくて、初年度から変更した通学区域とする	99	34.3
3 その他(具体的にお書きください) ※回答内容は別紙、回答内容一覧参照	31	10.7
4 無回答	32	11.1
全体	289	100.0

問5 問3で「通学区域は現在のままでよい。高坂小学校の教室不足はプレハブ校舎を建築して対応すればよい。」に○をつけられた方にお聞きします。  
その理由は何ですか。具体的に御記入ください。

	件数	割合(%)
1 児童数の増加は一時的であるため	10	34.6
2 通学距離が長くなることによる安全面等の問題	5	17.2
3 高坂小学校に通わせたい	5	17.2
3 区域変更による友人や地域との関係の問題	4	13.8
4 その他	5	17.2
全体	29	100.0

※回答内容は別紙、回答内容一覧参照

○ その他、通学区域について、御意見、御要望がありましたら、御記入ください。

※回答内容は別紙、回答内容一覧参照

件数
109

問3 回答3

回答内容一覧

1	団地などで一時的に学生が増えての対応は他の市町村でもあり充分検討し、減った時の事を考慮して考えるべき。事例は多くある。
2	難しい選択です。以前孫が南中へ自転車通学をしていましたが、とても大変そうでした。そういう事も考えて、見直しをしてほしいと思います。
3	高坂小・桜山小の現在の校区の児童数の推移はわかるが、各自治会ごとのそれぞれの校区ごとの推移を考えた上で見直しを考えたい。自治会を分断することは避けたい。
4	小学校についてはプレハブ校舎での学習は大変だと思うので、通学区域の見直しが必要だと思うが、中学校については教室不足がなく、可能ならば南中に統合した方がよいのでは。
5	通学区域を無くして本人の意思で好きな学校に行けるようにする。
6	南中が遠すぎるので、中学校区の見直しも必要。
7	在校生が居ないので、現実的には実感することは出来ませんが、先々を考えますと①に同意します。プレハブ校舎というのは災害に対しても良くないと思います。
8	東上線の東は高坂小に西は桜山小に提案します。
9	空き教室大いに利用すべきと思う。子供達は地元も余所者も関係ない。
10	有効利用して学校は今後建設しない方がよい。少くらの住民の反対意見は無視すること。市の方針は貫くこと。それがひいては市民のためになる。親バカは何処にも居る。いちいち聞いてはきりがない。
11	将来、孫の代になった時に、現在の自宅(悪戸地区)から通う事になった場合は南中が近いので、通学区域は現在のままの方が望ましい。
12	どちらとも言えません。①の意見の方が現実的と思いますが、実際にどこまでを桜山小に組み込むのか？友人と離れて数名だけ新しい学校もかわいそう…。児童が増加しているのはピオニ周辺の住宅地なので、桜山小区域を多少広げたところで人数が大きく変わらないのでは？人数を分割するには高坂小校区からかなり変更しないとだめですよ？我が家の周囲がどちらになるのかわかりませんが、現在でも遠いのに桜山小ではさらに遠いので困ります。何年か後に高坂小も児童数が減少すると思われるので、プレハブで対応してもいいかもしれませんね。
13	白山中の通学区域を広げるのは反対です。年齢の小さな小学生から通学区域を広げて、卒業して、同じ中学校へ通えるように配慮すべきだと思います。
14	通学路の近道が出来、安全性が確保されれば良いと思います。
15	小学校は高坂小を希望。中学校は通学区域の一部変更しても良いと思う。高坂小の通学区域の生徒は白山中に通学しても良いと思う。
16	高坂小の教室不足はプレハブ校舎を建築して対応すればよい。
17	東松山に越してきて2年となり、まだ土地の様子はよく分からないのですが、小中学生という多感な時期をプレハブ校舎で過ごすという事に、あまり良いイメージが持てなかったため①とさせて頂きました。私の中では「学校の教室」というのは、年を取った今でも思い出に残っているものです。ですが、様々な意見もあると思います。子どもたちの安全面はもちろん、心理面も考慮された上でご検討下さい。
18	「プレハブで対応すればよい」という質問はまずおかしいと思います。良いわけがない。
19	高坂小の教室不足はプレハブ校舎を建築して対応すればよい。
20	どちらでも良い。



21	選べる様にすれば良いと思う。
22	高坂小より桜山小に近い子供が高坂小に来ているのを知っているから①です。
23	プレハブはダメ
24	通学距離が近くなる事が良い。通学時間が短くなればよい。
25	南中・白山中の通学区域を変更した方がよいと思う。南中は増大しすぎ白山中は減少しすぎ、また高坂小区域で白山中の方が近い家庭が多く距離的にも不自然。
26	①に賛成だが、桜山小・白山中の現状の少人数の良さもあるので、急激に人数を増やす事には、賛成できません。
27	高齢者が増えて来ます。小学校、空き教室を老人にも使用出来るようにお願いしたいです。
28	毛塚と西本宿の一部を、桜山小に組み入れるように変更した方がよい。
29	児童の安全確保が第一(防犯面・交通面)で桜山小では遠い。
30	単に子供の数で学区を区切るのではなく、交通量、道路の大きさを考えて、学区を決めて頂きたい。その上で、子供の数が多くなれば、プレハブ等の対応をすればよいのではないか。
31	(交通面と防犯上)安心して通学できる道路を整備する。(通学時には保護者、教職員の立ち番が必要になるかと思います。)
32	教室不足のプレハブ建築は、回答誘導している。
33	高坂小区域の未就学児がいる家庭では、区域は関係なく(高坂小・桜山小どちらか)好きな学校を選べるようにする。
34	以前より、桜山小に近い区域の子供たちが長い時間をかけて通学する姿を見かけるたびに、疑問がありました。大賛成です。是非実現させて欲しいと思います。
35	高坂小に通う家庭にどちらかの学校を選択させればよい。
36	①につけましたが、小規模化にも対応できるのではという一文と通学区域の変更で、児童生徒数が増えることにより(小規模にこだわることは?)小規模でないように変化しつつあるかもしれない今後の状態になっていっても、市内小中の中でも通学区が、とても狭い状況によって児童生徒数の減少をし続けていることをくい止めるためには、通学区の見直ししか、ないと考えています。

問4 回答3

回答内容一覧

	②は何の初年度ですか？
1	入学する子どもの家庭を対象として、高坂小と桜山小の境に住む方、高坂駅西口に住む方(東口の方は高坂小が近いため)の意向を尊重した方がよいと思います。
2	各町内別毎に。
3	①をした上で、選択できるように考慮してほしい。
4	保護者の意向を尊重するとまとまらないようで、配慮事項を設けないというのもと思うので③にしました。
5	小学校から中学校に変わる時に通学区域が変更した為友達がわかれてしまうと可哀想なので。
6	兄弟が違う小学校、中学校に通うこともありうるので、そのへんのところの意見を重視して欲しいです。
7	教育委員会で決めていいのでは。
8	通学区域が変わっても南中に入学している(在学している)生徒については、卒業まで、本人が希望するなら、南中に卒業まで行かせるようにしたいと思う。
9	新入生は変更された学区で良いと思います。在校生については①をして頂きたいです。
10	早めに告知しておく。(2年前くらいから)
11	住まいの地区により組み入れた方がよいと思います。
12	納得できる通学区域の変更であれば②で良いと思う。
13	変更する初年度だけでなく、6年くらい(入学から卒業まで)全てその通学区域で過ごした子供・保護者の意見・意向を尊重して下さい。
14	急に通学路や校区が変更となりましたと言われたら、自分だったら驚いてしまうので、区域が変更になる地域の方の意見を取り入れながら検討していった方がよいかと思います。
15	平成29年から導入します。発表時期は2年～3年前に説明をすれば良いと思いますが。
16	(変更した上で)通う学校区域を重ね、どちらに通学したいか選択にしてほしい。
17	子供を持つ親としては子供や保護者の意向は尊重してもらいたいです。一人一人の意見を聞いていると難しいので、配慮事項は設けない方がよいのか…難しいところだと思います。
18	兄弟等の学年も考慮すべき。兄弟で違う学校に通うのはどうなのか、等。
19	境界線の近くに住む人の選択出来ることとする。
20	個人で選択しても良いのでは？
21	市と地域(自治会)と学校関係者等でしっかりと話し合いをする。話し合いの結果を、住民に知らせしてほしい。
22	変更する年から1～2年間は保護者・本人を尊重する。
23	初年度に限らない方がよいと思う。兄弟で小学校が違ってしまうと、親が大変だと思うので。
24	高坂小の通学区域広すぎる。ピオーネや益々多く家が建ったら子供も多くなる。子供(親)桜山小になったら難しくなるかもしれないから良く話し合った方がよいと思います。白山中も多くなるからいいと思います。
25	登下校時の安全を第一に考える事。
26	小学校は1年生のみ②でいいが、小2以上と中学校は交友問題があるので①とし、②の1年生が中学生になれば自然とみんなが変更した通学区域になる。
27	上の子が高坂小に通っているのに下の子は桜山小だと大変なので、小学生がいる家庭は行きたい方に行かせ、在学の子がいなければ配慮は設けない。
28	少々複雑になるかもしれませんが…現在高坂小に通学している児童に限り、本人・保護者の意向を卒業まで尊重する。新入生・転入生にあつてはこの限りではない。ただし、新入生に弟妹がいる場合は、兄弟は新入生と同じ学校へ通学する。

- |    |   |
|----|---|
| 29 | 新1年生から移行する場合に限る。                            |
| 30 | 希望者を桜山小・白山中で受け入れればよい。南中に通っている生徒は白山中のが近いでしょ！ |
| 31 | 変更初年度の高学年(5,6年生)は、変更せず現行のままが良いのでは。          |

## 回答内容一覧

1	十数年後、高坂小もまた減少することも考え、区域は変えない方が良くと思う。
2	子供の増減数は巢立つまでの期間であるし、少子化になっているから。
3	児童数の増加は、一時的なものだと思うからです。
4	「正代」としては高坂小の方が断然近い。
5	途中で変更になるのも、お友達と離れてしまうのも、子供にとっては悲しく、かわいそうです。
6	子供を遠くまで行かせたくない。
7	お父さん、お母さんが高坂小を卒業しているのに子供が違う学校では可哀そう。
8	高坂小・南中に入るためにこの場所に家を建てたので学区を変えられるのは困ります。
9	登下校の安全を考えると。
10	桜山小・緑山小の2校閉校した例があります。教訓を生かしてください。
11	昔から住み慣れ、必然的に高坂小へ入学するとの思いがある。その為、既に登下校へ向けての安全確認(通学路の安全等)を子どもと話し合い、考え、心の面からも入学準備が始まっている。そして何より、小学校周辺、近所の方々との絆が出来ている。その関わりがあるからこそ、子ども達も安心して、親も安心を持って学校へ行き、見送ることが出来るのでは…と思います。 より高い安全対策を第一に、もう一度お考えいただけたらと願っております。
12	ご近所、兄弟が既に通っているので、学区を通えるのではなく、高坂小レベルで改善を考えるべきである。
13	少子化は続くので。
14	プレハブで対応。5年後に改めて見直しをする。
15	現在は増加(高坂小)しているが、いずれまた減少したりと思うので増加時のみプレハブなどの対応でよいのではないかと思います。
16	通学区域の多少の見直しは必要だと思いますが、一時的な増加でいずれ減少するのでプレハブ校舎で対応がよい。
17	子供の数が増えるのは一時的だと思う。緑山小の時もそうだったのではないか。
18	高坂小の教室不足は残念ですが、長期的ではないと考えます。
19	完成したばかりの高坂小で教室不足になるなんて事がおかしい。人口の増加がわかっているなら、何故対対応できる教室を作らなかったのか疑問。この文章も、プレハブを作るなんて入れるとは悪意を感じる。不快です。
20	築年数の浅い、高坂小・南中に子供を入学させようと考え、わざわざその学区内に家を建て引越して来ました。プレハブ校舎なら安心です。
21	旧地元に住んでる人達は高坂ニュータウンの人達との交流がなく、子供・親ともに面識はなく、旧地元の行事等(祭り他)風習もちがいなじめないと思う。ニュータウン自治会と高坂地区自治会もほとんど交流がなくなじめない。
22	通学する本人にしてみれば、途中で別の学校に行くのは、やなものです。一生の事を考えればいくら多人数になっても同一の学校に行くのが理想です。
23	通学路の安全と距離が3倍ぐらいになる為行かせたくありません。
24	通学距離が長くなり、子供には無理。
25	通学が遠くなると安全の面が問題になる。桜山小はますます少なくなると思う。
26	大地震が来た時、プレハブ校舎は大丈夫なのか？揺れて怖い思いをしてしまうのではないか？夏はすごく暑い。(私もプレハブ校舎だった時があります)

- |    |   |
|----|---|
| 27 | 桜山小は教室も空いていると思いますので皆様で話し合いをしていく必要があると思います。                  |
| 28 | 教育委員会のその場しのぎのやり方で、まるでFIがない。考え方が安易そのもの。                      |
| 29 | 一時的な児童の増減は今後もみられると思うが、少子化により児童は減る一方であり、長期展望を考慮した対策が必要と考える為。 |

○その他、意見・要望

回答内容一覧

1	申し訳ございませんが、返答が難しくお答え出来ません。
2	<p>緑山小の例がよい例ではないでしょうか？住宅街が増え、子どもも一時は増えますが、成長した子ども達が成人し、子どもを産むようになって戻ってくるとは限らず学校が閉鎖する始末。税金を投入しプレハブ校舎を建築する必要性は無いと思います。その度、人数etc.把握して臨機応変に対応し、通学区域を見直して行くべきではないのでしょうか？</p> <p>高坂駅西口に住む方は桜山小の方が断然近いのに、高坂小なんだ…と嘆いている方もいらっしゃいます。</p> <p>白山中、桜山小、だいぶ年数がたちますが耐震は大丈夫ですか？プレハブ建設よりも、そちらを重要視して下さい。</p> <p>毎年、熱中症の問題もあります。各クラスにエアコンの設置、体育館へのエアコンの設置はどのようになっているのでしょうか。税金の使い道を考えて下さい。</p>
3	家から近い小・中学校に通うことが、最も望ましいことだと思います。
4	プレハブ校舎ではかわいそうです。同じ市内で在学生徒の人数に差が出るのはあまりよくなさそう。
5	変更通学区域に該当する兄弟が異なる学校に通うことになる可能性が高くなるため、すでに兄弟の誰かがどちらかの学校に通っている場合は下の子にも同じ学校に通わせてあげられるよう選択権を与えて欲しいです。
6	卒業して20年以上にもなりますので現在の通学の様子はあまり良くわかりません。無責任なお答えは出来ませんので悪しからず。
7	学校は基本的には中心にあるべき。通学時間で宿題など、1時間くらい差が出る。
8	あずま町ができる時に高坂小の人数が増えるのは分かっていたのに、今さらプレハブ校舎を建築してなど、話が出る事がおかしいと思います。
9	登下校時のボランティア様の見守り活動は大変意義のある事と思います。頭の下がる思いがいたします。新しい住宅の増加、人口の増加に対応していく事は必要な事と思います。困難な事かと思われませんが最初が大事。先を見てやらなければいけない事はしっかりとやって欲しいと思います。
10	早急に通学区の改変をするべき。(白山中の部活減少解消などからも)
11	高坂小は目の前に道路が通っており、交通量もそれなりにあるので、今以上に児童数が増加するのは、単純に事故に遇う危険性も高まると思う。
12	変更した場合の安全性を考えてほしい。
13	宮鼻から南中は遠いので白山中に通学させたい。
14	高坂東口開発に伴い住宅建設のラッシュであり、人口増(子どもの数)。一時的には厳しいがピークを過ぎると減少になっていくことを考えるとどうなのか。
15	<p>白山中区域の見直しについて考えると、地域拡大をしていくのもよいのではないか。</p> <p>桜山小に近い地域(西一・毛塚の一部)を変更すると思う。すぐに変更ではなく、2年後、3年後くらいにして準備する時間があると思う。(転校になってしまうので保護者や生徒たちの気持ちの面を考慮して)</p> <p>小学校から変更するのが難しいようであれば、初めの何年かは中学から学区変更でもよいと思う。</p>
16	2校全ての世帯にアンケートとるべきだと思います。
17	<p>桜山小や白山中が少人数なのがとても不安です。できればもっと桜山小区域を広げてほしい。同じ毛塚なのに、小学校から別れてしまうのがとてもかわいそうでなりません。同じ毛塚なら同じ学区にしてほしい。</p> <p>そして、桜山小までの通学路も整備してほしいです。とても危険すぎて(皆、抜け道で使っていて)危ないから心配です。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
18	プレハブ校舎を建築して税金の無駄遣いは良くないかと思う。学校側は、遠くからでも来たいと思える授業や学校を作るべき。主役は生徒。

19	特に小学生は通学距離が2Km圏内が望ましいと思います。あまり遠いと事故や事件のリスクが高まるからです。
20	現行では高坂小が近いが、中学は南中より白山中のが交通面で適しているので、現在の高坂小人口の2/3は白山中で良いと思う。
21	今回アンケートに答えさせて頂きましたが、昨年移住したばかりですし子供にも恵まれない体ですので一般的な回答しか出せませんでした。 このようなアンケートはせつかくの機会ですでお子様のいるお宅に限ってなさってはいかがでしょうか。
22	20年程前にも、緑山小開校に伴い通学区域の変更がありました。姉(現在28才)は高坂小に入学し、2年生になる時変更があり桜山小へ編入ということになりました。教材などの一部が違ったり体育着を買い替えたりと面倒な事もありました。でも、子供達はスムーズに対応できていたそうです。
23	通学区域がある為近くの小学校や中学校に入学できず遠くの小学校や中学校に入学しなければならないのはおかしい。
24	現在子供がいないので、よくわからない。
25	桜山小区域を土地区画整理をし、人口を増やしたほうが良い。 縦に割りたいが人通りの少ない道しかない。
26	通学区域を分ける境を、将来を見通したものを示し、住民に理解を得るようにしてほしい。最終的には行政の方での決定になると思いますが、決定してからの説明ではなく決定に向けての説明会を持ってほしいです。桜山小・緑山小の時は、住民の人達が発言しましたが決定していて、出た意見は一応聞くという様にとれました。また、新しい校舎の高坂小と古い校舎の桜山小というのではなく(中学も同じですが)校舎は古いけれど他の物で補うとか何かを充実させ、桜山小・白山中のよさをアピールできるようにしていくことも大切だと思います。
27	通学区域が広がることにより、より児童の通学路での危険が心配される中で、基本的には「自分の命は自分で守る」ことを前提としながらも安全を確保する上で、(ガードレール設置等含む)通学路となる歩道の整備と大人の見守りが必要かと考えます。
28	いずれ高坂小の教室不足が明らかなのであれば、プレハブで対応するのでは無く、桜山小、白山中で学区調整をすることで対応出来るのではないかと？
29	白山中を今年卒業した娘がいます。小学校から代わり映えのないメンバーで、けっこう問題のある事、事件もありました。中学校3年間は1クラスで、色々とも事もあり、娘は早く卒業したがっていました。中学校生活は良い思い出がありません。親同士もウンザリ...といった事を良く話していました。中学校が1クラスというのは、3年間キビシイです。逃げ場がありません。通学区域については、もっと早く対処してほしいです。
30	白山中学では少人数の為、部活動もままならないとか？中学も検討して下さい。
31	線路を境に東西に分けたらどうでしょうか。小中とも空き教室大いに利用すべきと思う。義務教育なんですから教育委員会に決定権大にあると思います。
32	基本的に通学区域は近くの学校に通うのが良いと思います。通学路は小学生も中学生も特に南中に高坂地区から通っている生徒は、道路が整備されていないと思われる箇所がいくつか見られるので、これからは見直す必要があると思います。
33	高坂地区の開発は事前に分かっていたならば、世帯が増えることを考慮し、高坂小の校舎改装を取り組みすべきでした。住民意見も取り入れながら進めないと難しい問題だと思います。
34	兄弟がいる場合、もし通学区域が変更になるなら、兄弟の小学校がバラバラにならないようにするなどの配慮をしてほしい。保護者の意見を聞いてほしい。転校もしたくない。
35	高坂小の持ち物が桜山小と一緒になのか、教科書・体操着など補助は出ないんですか？学童(高坂小と桜山小)の価格が違くと聞きます。合わせて同じ価格にして欲しい(桜山が高くなる)。この問題は、ずいぶん前から出ていた事です。ピオニが出来る前に対応しなかったのか、理解に苦しむ。もっと前にしていれば体操着など桜山小の物が買えた。市の対応が遅すぎる！

36	桜山小・白山中においては、新校舎の頃に毛塚・西一・西二ぐらいまで校区を開放すれば、今回になってこのようなアンケート調査は必要なかったと思う。(当時、署名運動もあった) 自転車も購入し、ムダな出費が多すぎる校区です。自転車のバンク代だけで一台購入出来る位、出費がかさんだ。(コアラ道路建設中だった) 市税が高い割には、計画性がなく不満がいっぱいです。特に白山中は家の二階から校舎、体育館の建物が見えていたので徒歩で十分通学できた。
37	校区を変更するとしても、関越道よりむこう側は桜山小でも良いと思いますが、それ以外は遠くなりそうです。
38	なぜ、小学生や中学生がいない家庭にまで無差別にアンケートをとるか、わかりません。学区を広げること前提に話をすすめているようにしか思えない。
39	兄弟で、別々の小学校・中学校になる可能性があるので、行事の設定日に配慮。
40	来年、下の子が入学します。姉妹で違う小学校、というようなことがなければ通学区域の見直しは賛成です。道具類の買い直しもありません。学区を広げたいと思います。
41	小学校から通学区域を変更するのであれば、桜山小の人数をある程度確保できるような広範囲の区域の変更が望ましい。桜山小・白山中でクラブ活動や学校行事が成り立つ生徒数の確保が出来る通学区域変更にして欲しい。
42	道路が整備され、交通量が多くなっています。
43	西本宿に住んでいる高坂小の卒業生です。現在、西本宿ではシバ薬局までの新しい道が開通しました。この道が子供達の通学路として使われるとしたら、安全面での配慮をして頂きたいと思っています。例えば、交差点での誘導係をお願いするとか。
44	小学校の学区変更をもしするのであれば開発前から変更なり校舎拡大などの対応すればよかったと思います。学区を考慮して住宅を購入した方もいると思います。先を見越した対応をお願いします。
45	子供達の通学路について安全面が確保できれば自宅から近い学校の方が良いと思います。
46	東上線を境に西側を桜山小と高坂小でわけてもよい。または九十九川で。中学校は高坂地区は白山中が良いと思う。
47	今後毛塚へ引越し予定です。高坂小は改修もされきれいですが、わりと大きな通りを通学路とすることを考えると、我が家は桜山小へ行きたいな、と個人的に思っています。
48	桜山小のような小規模化が、高坂小でも起きるのでしょうか？少数ですが、土地区画事業で高坂小を建て替える時に、5～6年先の想定しかなかったのでしょうか？こんな意見もありました。人口増(特に子供)喜んでます。お役に立てず申し訳ございません。
49	ピオニークができて、土地改良され、人数が増えることがあらかじめわかっているのにも関わらず、高坂小の教室が足らなくなるという意見は、まず、おかしいと思います。初めから桜山小・白山中の小規模化を問題視しているのであれば、そこからの話し合いにするべきです。 高坂小増加に伴う教室数の問題であれば、高坂小・桜山小・野本小で、話し合いを持つべきです。 アンケートも「今」と「これから入学する家庭」など、関係する家庭全てに配布するべきだと思います。皆の意見を踏まえ、話を進めるべき。 桜山小・白山中に行きたいという家庭があれば、行かせてあげれば良いと思います。(自由選択)
50	人口が増えるのはわかりますが高坂小の使用可能教室数と学級数はギリギリ間に合うので通学区域を変える必要なし。あくまで見込みなのだから2年後に通学区域変更などと急ぐのがわからない。どなたかの退職時期と関係あるのでしょうか。今、小学校に通学している子供達をまき込まないで欲しい。そんなに変更したいなら、来年から入学する子供を対象にして下さい。小学校の体操着の変更や上の子の中学校の制服・ジャージ・体操着の変更に伴う金銭面での全面保証等、考えているのでしょうか。教育委員会の勝手な行動で迷惑をかけられるのは困ります。このアンケートの実施方法も、とても理解できません。小学生・中学生の居る家庭全部を対象にするべきです。「アンケートを実施しました」という言い訳の為としか思えません。
51	耐震補強が行き届いていない学校に入学させるのはとても不安です。野本小学校もそんなに遠くないので考えてみたらどうですか？



52	東京都でも実施されているように、学区を重ね、通学する学校を選択出来る様にすれば良いと思う。
53	そもそも、特に、西一・毛塚地区の一部の家では白山中・桜山小が自宅から見えているのに高坂小・南中に行っているという今の学区がおかしいのではないかと聞いている。市内の小・中学校の生徒数(児童数)はある程度バランスを考えないと、子供達の生活に不公平である。
54	本人・保護者の意向を聞く事も本当に大切な事と思いますが、それをしているとまとまらないと思います。
55	正直、ピオニワークが出来て、あずま町での子供の数が増え、高坂小への入学者が増える事も分かっていたのに、高坂小の建築の時にその事を考えていたのか、疑問に思います。「問3」の高坂小の教室不足はプレハブ校舎を建築して…というのも高坂小へ入学する子供を持つので納得は出来ません。高坂小の改築の時にもっと子供達の事を考えて教室を作ってほしかったです。とはいっても今さらなので子供や親が納得出来る通学区域を決めていただける様をお願いしたいです。なんなら毛塚などの桜山小へ近い地域の方はどっちでも選べる、みたいな決め方もありだと思います。
56	高坂駅南の踏切の西側(加島宅側)歩道幅が狭く通学時危険ですので買収して広げて欲しいです。
57	高坂小増築またはピオニ小学校(仮称)を新築する。
58	児童館を作って下さい！雨の日等遊び場がなさすぎる！こども動物公園なり森林公園なり場所はいくらでもあるはずですよ！坂戸市を見習って下さい！！本当に困ってます。
59	通学路の整備、特にあずま町付近から南中までの道のり。
60	通学区域がどのような形に変更する場合であっても、高坂小の児童数が大変多いことには変わりないので、1年生のクラスには小1対応の市費の教員等を置くなどの対策をたて、児童の為によりよい教育を推進してほしい。
61	子供達はなるべく近い場所に通うのがよいと思います。
62	子供の増加に伴い、PTAの数も多少増加すると思いますが、子供達の通学時の見守りについて、市の方でも対策を考えて頂きたい。例えば、緑のおばさんや、職業として見守りを行なってもらえる様に。
63	特に中学校に上がった時、通学時間の減少や安全が見込めるなど、子供達の負担軽減にもなると思います。(高坂小区域の方で、確実に白山中に来た方が近いと思われる地域があるので。)
64	通学路はあくまで安全に。ニュータウンの歩道を歩くこと。
65	早く行動を(先送りにするな)。
66	数年前白山中のPTAとして市・教育委員会に学区の変更のお願いを致しました。「誰も困っていない」「教育委員会が学区を決めているのではない」と淋しい回答を頂いた記憶があります。今回、このような問題が起きることは、その時から分からなかったのか、と残念でなりません。桜山小・白山中の一貫校の構想など、子供も家庭も振り回されます。高坂小校区の家庭は「親も通った小学校」と思い入れの強い方もいらっしゃいます。どのように決まっても、行政判断で決定したことは最後まで責任を持って地域の方々に説明、同意を得る努力をされて下さい。大好きな東松山に、大人になった子供達が「住みたい」と思うためには、大切にされたという記憶が必要です。子供達のことを第一に考えて下さい。
67	学区を変更する場合、出来れば通学路の安全を図るよう、あわせて検討をして欲しい。
68	通学にかかる時間及び通学路の安全等を十分に考慮してほしい。
69	空き教室をもっと活用できる方向で考えて頂きたい。
70	幼稚園の場所が高坂小区域にあるため、桜山小に通学する子供が1,2人になってしまうので、保護者の意向を尊重しながら通学区域を変えるのを希望します。

71	財政難の折、なるべくお金をかけずに今在る物を有効利用する事を考えるべきだと思います。また、学区を配慮してしまうと、かえって保護者の未練が残ってしまいます。市の方ではっきり区切れば、あきらめもつきまですし、どんな環境にでも適応出来る子供を育てることも大切だと思います。同じ市内どこで教育を受けても、バラつきがないよう配慮して頂ければ、保護者の不安、不満も解決出来ると思います。
72	桜山小・高坂小とした通学区をきっちり決めないことで、その学校の特長を生かした校風を(児童父兄が)選択出来るのはどうでしょうか。
73	10年以上前から桜山小・白山中の小規模化は予想されていたにもかかわらず対応してこなかったのは、学校教育行政、議会の怠慢としか思えない。来年度から至急実施すべきであり、住民の意見を聞き聴いていたらこの先何十年も経っても実施できない。課題の先送りはもうやめた方がよろしいのではないのでしょうか。
74	本人・保護者の意向に関係なく、早い時期に変更すべきです。部活動も出来ません。
75	市内全校の生徒数、平準化は教育方針はもとより、まちづくり計画の一端である。少数化校に至ったのは人口推移の誤算であり、市として計画の見直しは当たり前のことと思う。是非校区の見直しを図っていただきたい。少数化校は、先生の数が減少し、部活の顧問が不足し、廃部になっているのが現状です。教育の原点は「心身共に鍛える」ことではないのでしょうか！
76	桜山小は受入能力があります。それを活用すればプレハブ校舎を建築する必要はありません。税金の無駄遣いです。
77	子供が通学しているとお年寄りも元気が出ます。
78	申し訳ありません。子供達にとってどれが一番よいか迷っていましたが気がついたら締切が過ぎてしまいました。よろしく願いいたします。
79	私の意見だけではなく、ご近所の桜山小に通学している保護者の方二名の方にも聞いてみました。
80	桜山小・白山中ともに生徒数が少なく、通常の学校に比べて、教育環境や部活などにも不利な状況にあると考えています。
81	何年も前から、判っていた問題で、子供が成長するにつれ、桜山小に在学していたので少人数。白山中に進学するとしたら、他とも混じらず、友達関係も一定で、狭い視野、部活も二者択一のような状態。不安だらけのまま、中学受験を選択するに至りました。もっと早く本格的に話し合っただけなら、公立中学校へ進学する方も減らなかったと思います。これ以上、我が家の様なご家庭を増やさない様、真剣に話し合い、決定して下さい。
82	特に小学生は人数にこだわらず、通学距離の短い方に通えるよう、区域を分けてほしい。
83	白山中に行くことになりましたが、部活数も少ないと聞きました。好きな部活に入れないのは困ります。もし桜山小に入学して、クラスが1クラスだった場合、その学年は自動的に中学に行っても1クラスの可能性があります。イジメなどがあつた時、9年間も同じクラスメートはキツイです！小学校はせめて3クラス、中学校はせめて5クラス以上は欲しいです。 高坂小の子が自転車以南中に行くのなら、白山中の方が、歩きでも通える距離なのでは？高坂駅の踏切から区切って南中・白山中に分けてもいいと思います。
84	子供のいない家庭へのアンケートは有効でしょうか？疑問。
85	難しい問題です。やはり、今在学中か、これから入学される方の意見を重視した方が良いのでは！
86	高齢化が進み、新築での(高坂で新しい区域に転入する若い人が)家を建てれば老若の片寄りが出る。子供が居る場所、いない場所に合わせ学校配置とするしかないのではないのか。 現状の学校の場所、住居地の分布片寄りを減少出来る様な学区の創出(住宅の住んでいる人々の比率=年代層考慮にて)～割当てとすべしではと思います。エリア単位→人数分布で学区を区分。
87	現小1～小6の児童は、現在の通学区域を尊重し、新入生・転入生から対応してはどうか？

88	通学区域の事はよくわかりませんが、高坂小・桜山小、南中・白山中、と均等に生徒さんが通えるようにしてもらいたいと思います。
89	緑山小の廃校後、大東文化大学への売却について、事前に住民説明会もなく実施されたと思いますが、市としてはそれで良い(廃校は兎も角、売却については役所マネー)と考えておられるのでしょうか。前市長の処理案件ですが、未だ納得がいきません。
90	現在白山中に通う生徒の保護者として、部活動もたった三つの中から3年間必ず続けなければいけない部に入らなければならない状況など、今まで、お願いし続けて来たのに遅すぎる対応、であると思う。ある程度の意見は聞いて、早急に進めて頂きたく思います。くれぐれもグレーゾーンを設ける、希望者のみという判断にて終わらせないようにしてほしい。
91	高坂小区域の方には、好きな学校を選んでもらう。人口増加で、高坂小の対応が追いつかない状況だが、地元の方はやはり地元の小学校に通いたいと思う。一部の方に桜山小に移るようお願いしても、納得して来てくれる方は少ないのではないかと。選択できるようにして(必ずしも人が流れるとは言えないが)意向は尊重できる方がいい。
92	高齢者世帯で、小・中学生について見当が付きません。
93	将来を見据えた通学区域を検討すべし。
94	今、このような小さな恵まれすぎた環境で育ってしまって、高校に入学して適応していけるのか、不安です。義務教育期間は、色々な価値観、特技を持った子供達がたくさん集まり、その中で、人間関係なり、応用力なり学ぶ時期だと思えます。あまりの少人数に大変ありがたくも思っていますが、その後を考えると、甘えていいものか、とも思えます。
95	今現在は同居していませんが、子供二人は桜山小・白山中を卒業しました。(問2に対して)
96	緑山小卒業(問2に対して)
97	桜山小の少子化がますます進めば、廃校も考えられ、合併などになれば高坂小の教室はますます足りなくなるのでは。学区変更は良い機会だと思う。また、プレハブを作るのにもお金がかかると思うので、財政の問題もあるのでは。
98	「変更する初年度に限って、本人・保護者の意向を尊重する」という場合、ほとんどの生徒が変更を拒否したり、その結果通学班が低学年児童で固まって危険があったりしないのでしょうか。また、「兄は高坂小へ行くが、弟は変更時に未就学だったため桜山小へ行く」というようなねじれは起きないのでしょうか。こういった事を考えると、配慮事項を設けるのには賛成できません。
99	子供がおらず引越して2年なのでよくわからない。
100	通学区域変更が実施される時は、子供達の通学路の安全に十分な配慮が絶対的に必要だと思います。
101	子供の数の増減は一時的なことが多い。現有施設の有効活用を望みます。(プレハブの必要はないと考えます。)通学区域の見直しは、随時行えば良いと思う。
102	このアンケートは現在、小中学生がいる家庭にのみ、あるいは、これから入学予定される家庭のみ対象にすべき。高坂小にプレハブ校舎を建てれば不満が出ることは分かるはず。郵送費がもったいない。役人のやること。
103	通学時間を考慮した区域の見直しを行うべき。それにより平均化が図れ、結果的に桜山小・白山中の児童が増えるならば父兄も納得できるのでは。
104	歩道橋の予定はないのでしょうか。
105	予算が削減される中、通学区域に対しても柔軟に対応すべきだと思います。意見を聞くと、必ず、反対意見や、過去の利権に絡んだ意見を出しますので、議会等ではっきりと決定した方がいいと思います。
106	設備や環境に差異が生じないように。通学路を想定し、安全な配慮を。

- 107 桜山小・白山中は空き教室が多く活用状態は不十分。民間では、効率化が求められており、通学区域の見直しは、当然の判断と思います。
- 108 10年以上前から通学区の見直しを白山中PTAは要望を出し続けておりますが(教育委員会へ)、検討という回答のみで、進まずにいたこの件ですが、土地区画整理事業により、高坂小の人数の急増という状況で、高坂小校区の住人の方達の理解が進み、白山中校区・高坂小校区が、共に、教育環境が充実しますよう、希望します。  
高坂小校区の通学区域の一部を桜山小へ変更する、具体的な理由ができたと思います。このチャンスリーダーシップを持って教育委員会は、ぜひ動いていただきたく思います。
- 109 今回のアンケートに偶然ながら該当し、回答の機会をいただきましたので、同封の用紙では私の考え、思いが伝えられないと思い、ご意見を挙げさせていただきます。  
最初に、高坂駅東口土地区画整理事業と高坂小の改築はほぼ同時期に計画があり、実際に工事も行われていたはずですが。それにも関わらず問③で、記載のような選択肢になっていることは、市の計画では、高坂小の通学区域を変更するという前提で進んでいると感じます。現状で教室が足らなくなる事が予測される中、プレハブ校舎でも良いと思う住民も少ないはずですが。また、今回は小学校の通学区域がメインとなっていますが、当然中学校(南中と白山中)の状況もご提示の生徒数を考えれば、同時に考えなければならない問題だと感じます。  
私事ではありますが、私は高坂小・南中を卒業。その後家庭を持ち、32歳で実家のある西本宿に家を構えました。子供はこれからの段階ではありますが、この高坂地区に家を構える際、いくつもの土地を見定め、最終的に決めた要素の中には、子供の通学する学校も大きな要素でした。やはり規模の大きな高坂小・南中への通学を考えたものです。  
しかし、今回のアンケートを受け取り、こうしたことがすでに考えられていた現状を踏まえれば、まさにこの西本宿等は、その該当地域だと思います。  
今回のアンケートは、その該当者になるかどうかでも、回答への思いも大きく変わるはずですが。現状で今後の児童・生徒数の推移を考えれば、高坂地区の高坂小・桜山小の通学区域を見直すことは、仕方の無いことだとは思いますが。また、それと同時に、先にも挙げた通り、中学校の通学区域も見直すべきだと強く感じました。  
同封の資料にもあるように、南中の生徒数に比べ、白山中の生徒数は約1/5。多感な中学生という3年間を過ごすには、ある程度の人数がいる中で学校生活を送るべきだと考えます。  
私は現在35歳になりましたが、当時高坂小を卒業する際、岩殿地区など高坂小でありながら、白山中へ入学する仲間が初めて出た年だったと記憶します。そうした変化に対してそのときは多くのことは判りませんでした。単純に卒業後、同じ南中に通ったはずなのにという思いだけはありました。  
今後その学区の変更を余儀なくされる時が来たとき、そこに該当する子供たちへのケア、保護者への理解を最大限求めるのであれば、高坂地区＝白山中への一本化を同時に行うべきだと考えます。幼稚園や保育園などの立地、高坂駅やピオウォークの存在など高坂地区の生活環境が整う中、そこに作られるはずのコミュニティが存在するはずですが。小学校では分かれても、中学校で机を並べられれば、それぞれの家庭の結びつきや、子供同士の付き合い、強いては高坂地区の結束力となっていくはずですが。昨今、コミュニティの希薄化する時代にあつて、安易な学区の変更で、作られるべきコミュニティが崩壊させられることは、市の行政としてあつてはならないはずですが。  
今後、桜山小や白山中の改築の予定まで、知る由もありませんが、単純に考えても、新しい高坂小や南中への希望も少なくないはずですが。しかし、南中も高坂からの通学を考えれば、白山中と比較すると、危険な場所も少なくないと思います。またご存じの通り、このあと西本宿から高坂小へとダイヤル外で繋がる道も完成するはずですが。桜山小への学区になった場合、当然残念な思いは拭えません。  
様々な要素を踏まえ、トータルで考え、未来のことを想像した結果としては、高坂地区の一本化。小学校＝高坂小・桜山小。中学校＝白山中。これがベターだと考えます。  
最後に、今回のアンケートの内容では、すでに全てが決定されているようにも感じました。長文、乱文を最後まで目を通して頂き、ありがとうございました。

高坂小学校・桜山小学校及び南中学校・白山中学校の通学区域の  
見直しについての教職員用アンケートの調査結果について

1. 調査対象

高坂小学校、桜山小学校、南中学校および白山中学校の教職員（産休、  
育休等の教職員を除く）

2. 調査対象数

高坂小学校 24名、桜山小学校 24名、  
南中学校 31名、白山中学校 14名 計93名

3. 調査協力数

高坂小学校 24名、桜山小学校 24名、  
南中学校 31名、白山中学校 14名 計93名 (100%)

## アンケート結果(教職員)

問1 あなたの所属する学校において、児童・生徒数の増加又は減少に伴う問題がありますか。該当する番号を○で囲んでください。

	高坂小	桜山小	南中	白山中	合計	割合(%)
1 ある	15	15	7	14	51	54.8
2 ない	9	8	15	0	32	34.4
3 無回答	0	1	9	0	10	10.8

問2 問1で「1 ある」と答えた方にお聞きます。それは、どのような問題ですか。1から5の中で該当する番号を○で囲み、具体的にその問題点を記入してください。

	高坂小	桜山小	南中	白山中	合計	割合(%)
1 学習指導上の問題	14	5	1	7	27	24.4
2 生徒指導上の問題	4	6	1	8	19	17.1
3 学校行事等の実施上の問題	2	8	2	10	22	19.8
4 クラブ活動・部活動指導上の問題	0	5	6	13	24	21.6
5 その他	4	9	1	5	19	17.1

問3 通学区域の見直しについてのお考えの番号を○で囲んでください。

	高坂小	桜山小	南中	白山中	合計	割合(%)
1 桜山小学校、白山中学校の小規模化にも対応できるので、高坂小学校の通学区域の一部を桜山小学校に組み入れるように変更した方がよい	16	20	15	13	64	68.8
2 通学区域は現在のままでよい。高坂小学校の教室不足はプレハブ校舎を建築して対応すればよい	4	0	2	1	7	7.5
3 その他(具体的にお書きください) ※回答内容は別紙、学校別調査結果参照	2	0	1	0	3	3.2
4 無回答	2	4	13	0	19	20.5

問4 問3で「桜山小学校、白山中学校の小規模化にも対応できるので、高坂小学校の通学区域の一部を桜山小学校に組み入れるように変更した方がよい。」に○をつけた方にお聞きます。  
組み入れるにあたっての配慮事項についてのお考えの番号を○で囲んでください。

	高坂小	桜山小	南中	白山中	合計	割合(%)
1 変更する初年度に限り、本人・保護者の意向を尊重する	10	17	8	6	41	62.1
2 配慮事項は設けなくて、初年度から変更した通学区域とする	5	0	4	6	15	22.7
3 その他(具体的にお書きください) ※回答内容は別紙、学校別調査結果参照	1	4	4	1	10	15.2
4 無回答	0	0	0	0	0	0

問5 問3で「通学区域は現在のままでよい。高坂小学校の教室不足はプレハブ校舎を建築して対応すればよい。」に○をつけられた方にお聞きします。  
その理由は何ですか。具体的に御記入ください。

	高坂小	桜山小	南中	白山中	合計	割合(%)
1 児童数の増加は一時的であるため	2				2	50.0
2 予想外の問題が発生しそう			1		1	25.0
3 高坂小、南中の区域の家庭で区域変更の賛成が少ないと思う				1	1	25.0

※回答内容は別紙、学校別調査結果参照

○ その他、通学区域について、御意見、御要望がありましたら、御記入ください。

※回答内容は別紙、学校別調査結果参照

高坂小	桜山小	南中	白山中	合計
3	6	5	3	17

高坂小学校・桜山小学校及び南中学校・白山中学校の  
通学区域の見直しについてのアンケート調査(対教職員)結果

(高坂小) 学校

回答者 ( 24 ) 名

【問1】 計 計  
1 ある 15 2 ない 9

※【問1】で「1 ある」と回答した方のご意見

【問2】 計  
1 14

学習指導上の問題

●人数が多いと、教室が狭く、移動に困る。●少人数指導のための教室などが足りなくなってきた。一人一人の児童に目が届きにくい。●教室が足りないことや、1クラスの人数が多く、教室がとて狭いこと。●教室が足りなくなる。少人数の学習が難しくなる。●少人数指導ができにくくなる。●少人数指導の実施が難しくなる。(教室数の問題もあり。)●増加し続けると、教室が足りなくなる。児童数の増加のため、教室が足りなくなる。(少人数指導ができない。)●きめ細かい指導が行きわたらない。●教室の確保●1学級の児童数が増える→学級数が増える→教室がない。●高坂小の教室は今でもかなり窮屈なつくりです。(配膳台が置けない等)少人数指導に対応するためには、それも必要数に入れなければならないと思います。

計  
2 4

生徒指導上の問題

●人数が多くなれば、当然目が届かなかつたり、指導が行き渡らなかつたりするでしょう。  
●児童の顔と名前的一致がしづらくなり、指導が難しくなる。

計  
3 2

学校行事等の実施上の問題

●高坂小の校庭は、市内で一番狭いです。児童数が増えると、運動会でも、児童席の配置に苦勞すると思います。  
●遠足等、隣学年での縦割り活動ができなくなる。

計  
4 0

クラブ活動・部活動指導上の問題

計  
5 4

その他

●使用可能教室「22」は、多目的室をあてての話だと思いましたが、多目的室の窓は、教室として使うには危険すぎます。教室として使用することを考えると、平成27年には大規模な工事が必要になると思います。  
●職員の数も増え、職員室に机(教師用)が入りきらなくなる。児童の靴箱・傘立てなどの不足。  
●学級数増加のため、教室が不足する。  
●少人数指導ができない。  
●通学班の班員が増えてくる。数が増える。区割りの問題。



【問3】 計

1

計

2

3 その他

2

●今までの経緯を考えると、何とも個人の意見を言えません。(桜山小に、数年前勤務していた時、桜山・緑山が1つの学校になる際のいろいろな問題を見聞きしましたので。 ●市の財政で高坂小に新校舎建築が可能ならば建設し、学区の変更はしない。 ●増築が無理なら、通学地域の見直しを行う。その際、桜山小に行くメリットをよりわかりやすくする。(桜山小の設備を整える。)

※ 無回答 2

【問4】 ※【問3】で1に回答した方のご意見

計

1

計

2

3 その他

1

●兄弟が在籍している家庭は、兄弟が通った学校を卒業するまでは考慮する。

※ 無回答 8

【問5】 ※【問3】で2に回答した方のご意見

●出来れば新校舎増築できればよいと思いますが、一時的なものなら、プレハブで対応できればよいと思います。  
●一時的なものと思います。学区変更は、兄弟関係等あり難しいのでは・・・。

○その他

●祖父母のいる家庭は、高坂小へのこだわりは強いと思いますが、「児童の安全と利益」を根気強く説得して理解を得る努力をし続ける必要があると思います。  
●青鳥小ができ、松一小が分かれるとき、むしろ旗で反対された皆さんがいると聞いたが、子どもたちが青鳥小で日々生活してみると「よかった。」という意見が多かったと聞きます。わけても、思いの外うまくいくかもしれません。  
●今後の高坂小の児童数増加と、白山校区の状況を考えると何か手立てが必要だと思います。しかし、保護者のご意見を集約していただき、市の方針と合わせるのがよろしいかと思っています。

高坂小学校・桜山小学校及び南中学校・白山中学校の  
通学区域の見直しについてのアンケート調査(対教職員)結果

( 桜山小 ) 学校

回答者 ( 24 ) 名

【問1】 計  
1 ある

2 ない

※その他 異動してきたばかりでわかりません。

※【問1】で「1 ある」と回答した方のご意見

【問2】 計  
1

学習指導上の問題

- ・児童数の減少が進むと、子ども同士が多様な考えに触れる機会を少なくする可能性がある。
- ・切磋琢磨する機会が向上できる。
- ・人数が少ないと活気や、学習意欲が下がるように思う。
- ・少人数なら指示したことがよく通り個別教育の指導の上で理解が深められるかもしれないが、競争意欲が減少したり、また他の様々意見を聞き自分の考えを高めていくようなことができにくいのではないか。
- ・40人近いクラスがあり、子どもへ目が行き届かない。
- ・事務処理に時間がかかる。(担任が1人なので)

計  
2

生徒指導上の問題

- ・人間関係が固定していて、新しい風が入って来ない。一端関係がこじれるとなかなか修復できない。
- ・クラス編成が毎年あることによっていろいろな友達関係の広がり期待できるが単級だとそれができない。(ちょっとしたきっかけで自分を変えられるチャンスがない)
- ・友達関係の固定化、空き教室が増える。
- ・力の強弱の関係が明確になった状態で学年が上がっていったりするのには、弱者にとっては、かなり辛いものがあり、好ましい成長は望めないしどちらにしても正しい心の発達ができないと思う。
- ・人数が減ってきている中で、人間関係が難しくなっている。
- ・児童のうったえを細かく聞くことができない。

計  
3

学校行事等の実施上の問題

- ・学年が単級であると運動会をはじめ、対抗させて実施したいことなどが限られてしまう。
- ・学校の合唱祭、体育祭等で盛り上がり欠けてしまう。
- ・小学校の運動会の2チーム対抗より3チーム対抗のほうが断然おもしろい(盛り上がる)
- ・人数が多い方が盛り上がる。
- ・学年が単級だと、学級対抗というような運動会種目は組めず種目などを考えるのにかなりの工夫が必要ではないか。
- ・単級での遠足や社会科見学、修学旅行の計画、引率の不安
- ・様々な行事がコンパクト化してしまう。(大人数でやる種目や行事が実施しにくい。)

計  
4

クラブ活動・部活動指導上の問題

- ・白山中の部活で、南中との差があると思う。
- ・人数が少なく、成立できる部が消滅してしまう。
- ・指導する教師が少ないと部活動の種類を限定せざるをえず、生徒の希望する部が設置できないということもあるのではないか。
- ・児童が減少することにより、クラブ数も減少してしまい、多様な活動がしにくいこと。
- ・運営上、部の数の限定が心配される。多くの部、クラブの中から好きなものを選択することが少人数だと難しいように思う。
- ・体力テスト(学年担任が1人になってしまうと正しく計測ができない)

計

5

その他

- ・中学への進学を考えると、白山中の人数がすくなく1~4等の問題があると思う。
- ・桜山小としては、2クラス規模が落ち着いてよいと思う。
- ・学年が単級が増えてくると学級編成(クラス替え)が無く、子どもにとっては、ふさわしくない状況である。
- ・今のままでは、白山中の生徒が活動が停滞してしまう心配があるのではないか。
- ・教員数が少ないと出張が重なったときの補欠の対応が間に合わないことがある。
- ・校舎の空き教室がふえたり、掃除場所がふえて、指導の指導の手が入らなくなり、素行の悪い児童がふえる。
- ・教職員数の減少
- ・通学距離が長い場合に、児童生徒の健康面、(疲労感)安全面、(交通事故、不審者対策)、または、特に低学年の児童等のことを考えると、交通手段(通学方法)も気になる。
- ・子どもの通学時の安全等を踏まえて近場の学校を選べた方がよいと思う。
- ・すぐに単級になってしまう。(1人2人転校下だけで)

【問3】 計

1

計

2

3 その他

【問4】 ※【問3】で1に回答した方のご意見

計

1

計

2

3 その他

・区域の線引きをしたら、その近くの本人保護者の意向を尊重する。

境界線

こちらだけの意向を聞くのではなく道路の高坂小の側の本人保護者の意見を尊重する。

- ・特に2年生以上は卒業までと高坂小でといを高坂小でという希望を尊重する。
- ・新1年生からは、初年度から通学区域とする。
- ・1とも2とも 考えにくいです。徐々になれると思います。
- ・(どこまで組み入れるかにもよりますが)大きな通りや、人通りの少ない場所などあれば、その場所を安全に登校できる態勢を整えること。
- ・早急に変更が実施される場合には、何年間かは、選択できるとよいと思います。

【問5】 ※【問3】で2に回答した方のご意見

- その他
- ・これからの子どもたちの学校生活を通じての成長を考えると大局的には、桜山小に通う児童が増えるようになると白山中も増えるのでいいと思う。ただ、当地域の方々への説は、十分行って理解を得るよう段階を追って変更してほしい。
  - ・南中が、生徒数が多く、通学区域が広いので、南中、白山中の校区見直しをした方がよいと思う。
  - ・地域の人意見が尊重されるべきだが、どうしても、変更できなかった場合は、桜山小・・・白山中を小中一貫のモデル校にできないでしょうか。ご一考願います。
  - ・どのような形になるにしても、児童が安心、安全に登校できる態勢づくりをお願いします。
  - ・高坂小は、今後あづま町方面の児童の増加が予想されるので、桜山小への区域の組み入れをして児童数を調整するとよい。
  - ・通学区域を変更することは、桜山小にも高坂小にもメリットがある。

高坂小学校・桜山小学校及び南中学校・白山中学校の  
通学区域の見直しについてのアンケート調査(対教職員)結果

( 南中 ) 学校

回答者 ( 31 ) 名

【問1】 計 計  
1 ある  2 ない  未記入

※【問1】で「1 ある」と回答した方のご意見

【問2】 計 学習指導上の問題  
1  

- ・空き教室が減ると、少人数教室が不足してしまう。

計 生徒指導上の問題  
2  

- ・学校規模があまりに大きくなりすぎると、生徒指導上問題が多くなる。

計 学校行事等の実施上の問題  
3  

- ・少数で行事の盛り上がり欠ける。
- ・1学級では行事が盛り上がらないと思う。

計 クラブ活動・部活動指導上の問題  
4  

- ・人数が増えたり減ったりすることが部活を運営する適正人数にならない。部の数を急に変更することはできない。
- ・部の種類、数、部員数が需要に合わない。
- ・人数が急に減ることのないように数年をかけて調整してほしい。
- ・このままで行くと白山中の部の数が減る。
- ・学校規模が小さいと人数が少なく部の活動に支障がある。
- ・試合に出られない子もいるので少し分けてもよい。

計 その他  
5  

- ・単純に生徒数の増減の問題、行政区の中での学校間の生徒数が偏りが無いほうがよいと考えるのみ

【問3】

計  
1 15 件

未記入

13 件

計  
2 2

3 その他

・番地を決めて、高坂小に入学したいか桜山小かの希望を取る。

【問4】 ※【問3】で1に回答した方のご意見

計  
1 8

計  
2 4

3 その他

・本人・保護者の意向を尊重する。  
・初年度に限らず、意向を毎年聞く。  
・初年度以降も本人・保護者の意向を尊重する。  
・兄弟・姉妹が別な学校にならないように、数年は流動的な選択を認めたほうがよい。

【問5】 ※【問3】で2に回答した方のご意見

・通学区域を変えることで予想できない問題が起こりそうなので。

○その他

・地域に根ざす教育公務員としては、あくまで地元地域の子どもを持つ保護者の意向に従いと思っている。  
・地域の方との話合いや理解が必要で、納得した上で行ったほうがよい。  
・市の将来を考慮し児童生徒の増減を踏まえ、多少の人数のむらが生じても長期の展望に立って平均化できる区分けが望ましい。問4の1に関しては、子どもの将来に影響がある場合のみ、説明できる基準を設け、実施するのはかまわないと思う。  
・地域の方からの声をよく聞いて進めてほしい。  
・このアンケートの対象者はどこまでか？「検討予定」により検討した内容については、どこまで、どう公開されるのか？

# 高坂小学校・桜山小学校及び南中学校・白山中学校の 通学区域の見直しについてのアンケート調査(対教職員)結果

( 白山中 ) 学校  
回答者 ( 14 ) 名

【問1】 計 計  
1 ある  2 ない

※【問1】で「1 ある」と回答した方のご意見

【問2】 計  
1

## 学習指導上の問題

- ・単級のため友達がいつも固定化、また代わり映えのしない顔ぶれで意欲に欠けることもある。
- ・中学生を持つ世代が変わってきた。
- ・教材研究が間に合わない。
- ・1クラスであるため多くの意見や考えにふれる機会が少ない。
- ・教材、教具、備品が少ない。
- ・単級のなので持ち時数は他校と比べ、少ないが、テストやワークシート等を3学年分作らなければならないので負担が大きい。
- ・生徒の中に発表する生徒・発表しない生徒の暗黙の了解ができてしまっている。

計  
2

## 生徒指導上の問題

- ・友達が固定化したり、友達関係が崩れると逃げ場がなく修復が難しい。
- ・クラス替えがない(2)。少人数の中の間関係。
- ・単級のため、生徒同士の人間関係づくりが難しい。(学校全体を見るとお互いに気を遣っている部分が多い)
- ・小学校で人間関係や学級ルールが崩れてしまうと、メンバーが全く替わらないので中学でそれを修復するのが難しい。
- ・クラスの中での立ち位置が決まってしまう、新たにチャレンジしようという意欲が芽生えにくい。
- ・1学年1クラスのため、クラス替えがなく、人間関係の広がりがない。また、トラブルを避けるため、生徒が消極的な面も見られる。
- ・馴れ合いからのふざけが起こりやすい。
- ・いじめに対するクラス分けや生徒に対する配慮ができない。

計  
3

## 学校行事等の実施上の問題

- ・盛り上がりに欠ける。
- ・行事の持つ祭典が盛り上がらない。
- ・クラス対抗ができない。
- ・体育祭の盛り上がり。
- ・生徒数の少なさで、生徒・職員の負担が大きい。
- ・行事を行っていく上で少人数校の良さもあるが、生徒達にとってはもっとたくさんの経験をさせてやりたい。
- ・体育祭ではクラスを二分して団編成をしなければならないのが現状。これではクラスとしての団結はあり得ない。合唱コンクールでは盛り上げるためにコンクール形式をとっているが、発達段階のちがう1～3年を同じ土俵で評価・採点し、表彰するには無理がある。
- ・行事の中心となる生徒が能力の問題などから常に同じ生徒になってしまう傾向がある。1人の生徒が複数の役割を負担しなければならないことが多い。

計  
4

## クラブ活動・部活動指導上の問題

- ・部活動の盛り上がりに欠ける。部活動の種類が少なく、生徒の希望に添えないときもある。
- ・部活動数が削減され、選択肢が狭いところ。
- ・部の数が決まってしまう選択させることが難しい。
- ・入部人数のかたより、大会出場に部員が足りない。
- ・部活の種類少なさ。
- ・部活動数が限られ、職員の負担大。生徒も選択の幅がない。
- ・部活の存続が難しい。運営が難しい。
- ・年度ごとに部活に入る生徒に差ができるため、1学年で団体のメンバーが組めないことがある。また、部活動の数が少ないため、教員側の専門性を活かさないことも多い。
- ・部活動の種類と人数が少ないので他校と比べて闘争心が少ない。

計  
5

その他

・教職員が少なく校務分掌が多い。3学年分の指導、テスト作成など。  
 ・少人数に大きな校舎で清掃が行き届かない。  
 ・生徒数が少ないといろいろな人と関わることができなくて、高校生になって環境の変化について行けないのでは？  
 ・クラス替えがないため、3年間同じメンバーで過ごすから「絆」は深まると思うが、クラス替えがあった方が交友関係が広がるし、色々良い面がある。

【問3】

計  
1

計  
2

3 その他

【問4】 ※【問3】で1に回答した方のご意見

計  
1

計  
2

3 その他

・高坂小→桜山小の通学区域に取り入れるのがベストですが、安全の問題もあるので、スクールバスを検討した方がいいです。

【問5】 ※【問3】で2に回答した方のご意見

・保護者が卒業生であったり、校区を再編するとき、今さら古い桜山小や白山中に喜んで来る家庭は少ないと思う。  
 白山中独自の目玉がないと厳しい。

○その他

・白山中としては、各学年とも2学級以上あることは、教育を総トータル的に見ても教育の充実にはとても重要である。部活動の人数の問題、部活の種類が少なく、生徒の希望に添えない。教職員数が少なく、校務分掌等の1人の負担が多いことなどを鑑みると早急に実施してほしい。本来なら3・4年前に実施していなければならぬことである。  
 ・市内5校なので同じように受ける条件を作るべきである。  
 ・中学校の規模としては、学び合い・競い合い・人間関係の面などから考えて各学年、最低でも2クラスは欲しい。東秩父のように1村1校であればどうしようもないが、本市は通学区の再編が可能なので生徒のために早急に実施すべきである。



児童生徒数の将来推計（高坂小学校・桜山小学校・南中学校・白山中学校）

平成24年4月6日現在の推計

高坂小学校

年度	児童数	学級数	使用可能教室数
平成24	459	17	22
平成25	458	18	
平成26	478	19	
平成27	517	19	
平成28	574	21	
平成29	600	22	
平成30	636	22	

※現在の推計でも平成29年度には使用可能教室がいっぱいになります。

今後さらに人口増が見込まれますので、近い将来に教室が足りなくなることが想定されます。

南中学校

年度	生徒数	学級数
平成24	563	17
平成25	568	18
平成26	605	18
平成27	605	18
平成28	596	18
平成29	590	18
平成30	630	19

桜山小学校

年度	児童数	学級数	使用可能教室数
平成24	244	11	23
平成25	248	11	
平成26	250	11	
平成27	259	12	
平成28	255	12	
平成29	239	10	
平成30	217	9	

※平成27年度までは児童数が微増傾向ですが、その後は減少に転じます。

白山中学校

年度	生徒数	学級数
平成24	101	3
平成25	114	4
平成26	124	5
平成27	120	5
平成28	113	4
平成29	118	4
平成30	131	5

入学予定校	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
高坂小学校	129	113	115	102	94	75
桜山小学校	22	29	34	39	44	48

東松山市立小・中学校通学区域審議会委員名簿

区 分		氏 名	役 職 等
1号委員	市内校長会長	田 中 久 隆	東中学校長
2号委員	関係通学区小・中学校長	吉 野 俊 一	高坂小学校長
"	"	栗 原 健	桜山小学校長
"	"	瀬 上 仁 直	南中学校長
"	"	梶 本 尊 行	白山中学校長
3号委員	関係通学区 PTA 会長	小 川 睦 己	高坂小学校 P T A 会長
"	"	利根川 敬 行	桜山小学校 P T A 会長
"	"	関 口 純	南中学校 P T A 会長
"	"	若 林 恵 美	白山中学校 P T A 会長
4号委員	関係通学区域代表者	橋 本 昌 男	高坂地区区長会 会長
"	"	黒 田 保 秀	高坂丘陵地区自治会連合会 会長
"	"	森 井 和 代	民生・児童委員（高坂地区）
"	"	川 路 謙 一	民生・児童委員（丘陵地区）
5号委員	知識経験を有する者	鍋 谷 正 則	社会教育委員
"	"	政 池 のり子	社会教育委員
"	"	椎 橋 薫	高坂市民活動センター所長
"	"	柴生田 建 司	高坂丘陵市民活動センター所長

任期は、東松山市立小・中学校通学区域審議会条例第2条に規定された任務を終えたときまでとする。

平成24年9月27日

東松山市教育委員会

高坂小学校・桜山小学校及び南中学校・白山中学校の通学区域  
の変更に関する今までの経過と今後の予定について

○今までの経過

平成23年	7月16日(土)	高坂丘陵地区自治会連合会との意見交換会
	9月14日(水)	高坂地区区長会との意見交換会
	11月10日(木)	高坂小及び南中PTAとの意見交換会
	11月15日(火)	桜山小及び白山中PTAとの意見交換会
平成24年	2月2日(木)	高坂小・南中・桜山小・白山中PTAとの意見交換会
	3月27日(火)	教育委員会会議にて経過及び今後の予定について 報告、意見交換、決定
	4月10日(火) ～19日(木)	関係PTA会長・校長、高坂地区区長会長、高坂丘陵 地区自治会連合会長、地元市議会議員へ経過及び今後 の予定(アンケートの実施含む)を説明
	4月27日(金)	高坂市民活動センター所長へ経過及び今後の予定 (アンケートの実施含む)を説明
	5月1日(火)	高坂丘陵市民活動センター所長へ経過及び今後の予定 (アンケートの実施含む)を説明
	5月10日(木)	アンケート調査の実施(関係地区内600世帯、関係 小・中学校教職員)
	8月下旬	アンケート調査結果のとりまとめ完了
	9月4日(水) ～5日(木)	市議会議員、関係PTA会長・校長、高坂市民活動セ ンター所長、高坂丘陵市民活動センター所長へアンケ ート調査結果をお知らせ
	9月15日(土)	高坂丘陵地区自治会連合会へ経過、アンケート調査結 果及び今後の予定を説明。アンケート調査結果の回覧 依頼
	9月26日(水)	高坂地区区長会へ経過、アンケート調査結果及び今後 の予定を説明。アンケート調査結果の回覧依頼
	9月27日(木)	教育委員会会議において通学区域審議会委員の選定 及び諮問内容の決定・諮問
平成23年5月～平成24年4月		教育部内検討会議の開催(12回)

○これからの予定

	10月下旬	第1回通学区域審議会開催
	11月下旬	第2回通学区域審議会開催・教育委員会へ答申
平成25年	1月下旬	教育委員会会議にて答申を踏まえての協議・決定
	2月以降	関係者・団体に順次説明。(1年間の周知期間)
平成26年度		新通学区域スタート(予定)

○東松山市立小・中学校通学区域審議会条例

昭和51年10月1日

条例第30号

(目的)

第1条 この条例は、東松山市立小・中学校通学区域審議会の設置、組織及び運営に関する事項を定めることを目的とする。

(設置)

第2条 東松山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じ、通学区域の編成等に関し必要な調査及び審議を行うため、東松山市立小・中学校通学区域審議会(以下「審議会」という。)を設置する。

(組織)

第3条 審議会の委員は30人以内とし、次の各号に掲げる者のうちから必要のつど教育委員会が委嘱する。

- (1) 市内校長会長
- (2) 関係通学区小・中学校長
- (3) 関係通学区PTA会長
- (4) 関係通学区域代表者
- (5) 知識経験を有する者

(任期)

第4条 審議会は、目的達成の際は、自動的に解散するものとする。

2 委員に欠員を生じたときは、前条各号の役職に応じて、新たに委嘱する。

(会長等)

第5条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 議事は、出席委員の3分の2以上の同意を得て決するものとする。

(関係者の出席)

第7条 審議会が必要と認めたときは、関係者の出席を求め、説明又は意見を求めることができる。

(庶務)

第8条 審議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(雑則)

第9条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和51年10月1日から施行する。

附 則(平成13年3月16日条例第13号)

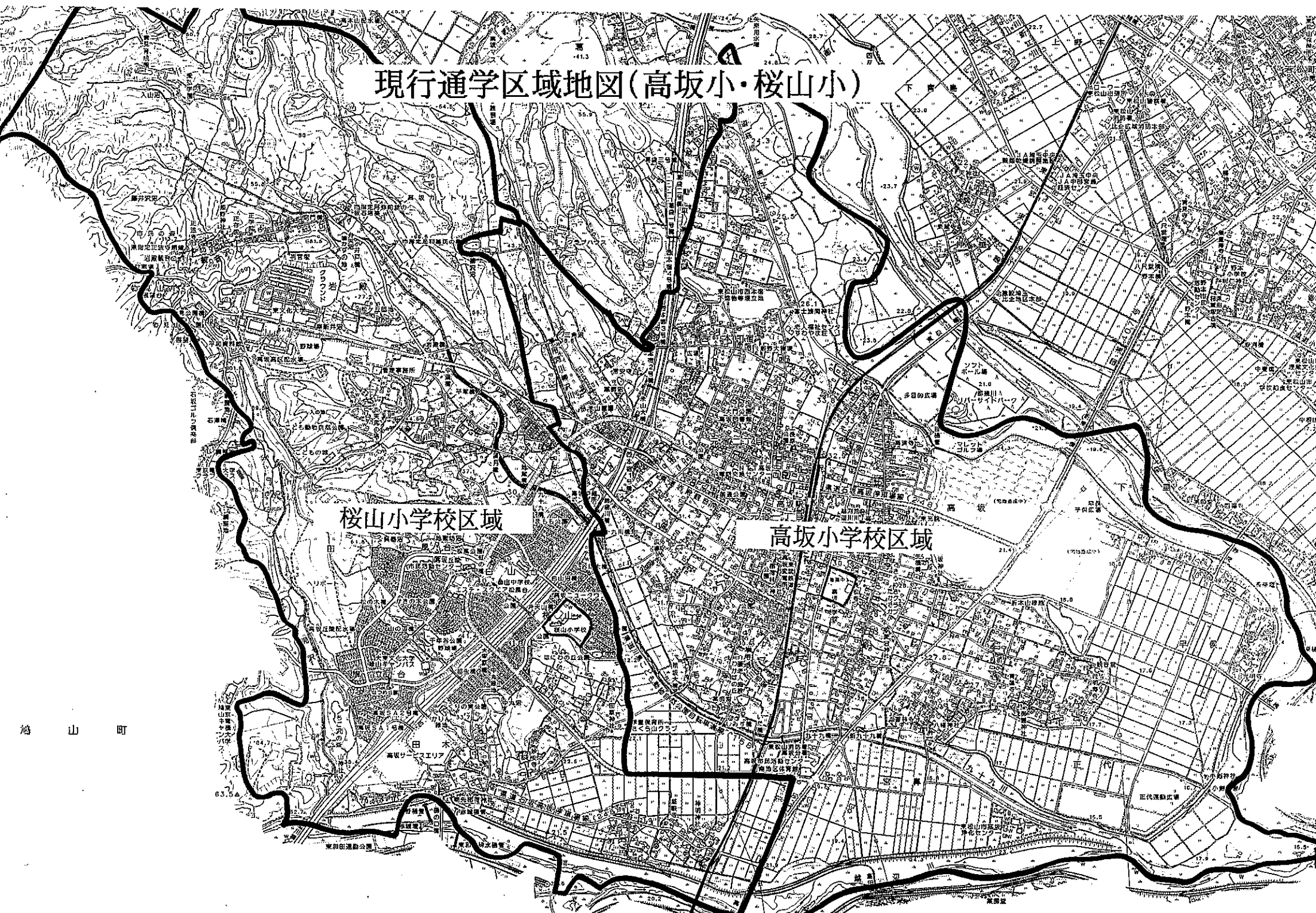
この条例は、平成13年4月1日から施行する。

# 現行通学区域地図(高坂小・桜山小)

桜山小学校区域

高坂小学校区域

鷺山町



# 児童生徒数の推移

(高坂小学校PTA本部作成)

高坂小学校 (平成24年度)

学年	児童数	学級数
1	95	3
2	90	3
3	59	2
4	65	2
5	75	2
6	76	2

桜山小学校 (平成24年度)

学年	児童数	学級数
1	44	2
2	44	2
3	38	1
4	31	1
5	42	2
6	44	2

## 26年度線路の東と西に分けられた場合の児童数の推計

高坂小学校 (平成26年度)

学年	児童数	学級数
3 (現1年生)	45	2
4 (現2年生)	41	2
5 (現3年生)	32	<u>1</u>
6 (現4年生)	32	<u>1</u>

桜山小学校 (平成26年度)

学年	児童数	学級数
3 (現1年生)	94	3
4 (現2年生)	93	3
5 (現3年生)	65	2
6 (現4年生)	64	2

※高坂小学校の5・6年生は1クラスになる可能性が高く、3～6年生全ての学年において、高坂小学校と桜山小学校の学級数が逆転する事が予想されます。

※子ども会は、高1・高2・高3・高4地区が分断されてしまいます。

**重 要**

平成24年10月12日

高坂小学校保護者 様

東松山市立高坂小学校  
PTA会長 小川睦己  
PTA本部 役員一同

高坂小学校PTA通学区見直しに関するアンケート集計結果のお知らせ

9月24日付にご協力をお願い致しましたアンケートでは、お忙しい中保護者の皆様には多数のご協力を頂きまして誠にありがとうございました。集計結果を下記の通りお知らせ致します。

尚、先日お手紙でお知らせ致しました通り、10月19日(金)午後7時より高坂小学校体育館にて教育委員会よりこの度の通学区変更の件につきまして説明会が行われます。出来るだけ多くの保護者の皆様にご参加頂きたいと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。

**集 計 結 果**

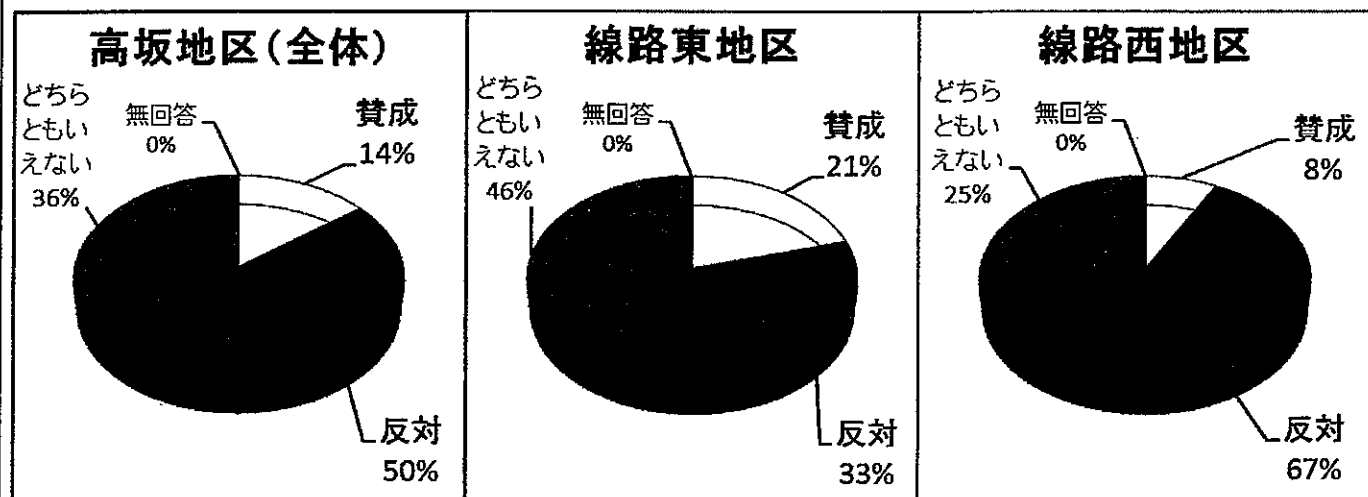
・回収率

	家庭数	回収数	回収率	
全体	354	340	96.0%	
内 訳	線路東地区	183	170	92.9%
	線路西地区	171	167	97.7%
	地区不明		3	

※回答用紙の地区名に“あずま町が無い”のご指摘がございましたが、今回のアンケートでは住所等の町名ではなく、各ご家庭が所属されている子ども会がある自治会名・行政区名を記載致しました。ご理解の上、ご了承くださいませお願い申し上げます。

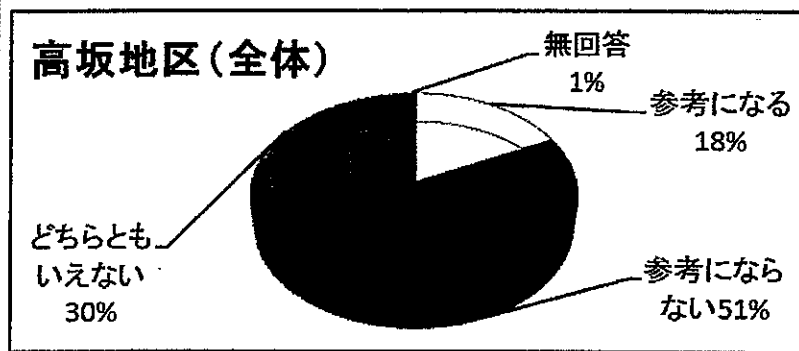
設問1. 2年後の平成26年度に通学区区域が変更になることについて

【回答結果】



設問2. 校区変更に関する無作為抽出アンケート(教育委員会実施)は参考になると感じますか?

【回答結果】



※回答欄に併記して、「変更の対象になる世帯(小学生や未就学児童のいる世帯)の意見が殆ど聞かれていないのは意味が無いのではないかと、無作為アンケートの実施を疑問視する回答が複数ありました。

アンケートでは多数のご意見を頂きましてありがとうございました。ご意見が複数あったものを掲載致します。

・設問1の「理由」の回答として多かったもの  
※複数回答有

【賛成】	合計	東	西	不明
・通学路が安全になる、近くなる	20	14	6	0
・高坂小学校の多人数はよくないと思う	11	9	2	0
・桜山小と白山小の少子化を改善した方がよい	9	6	3	0
・教室不足になると思う	8	8	0	0
・高坂小と桜山小の2校間で差は無いほうが良い	7	6	1	0
・プレハブはかわいそう	2	1	1	0
・仕方の無い事	2	1	1	0
・見直しは必要だと思う	2	1	1	0

【反対】	合計	東	西	不明
・友達と別れたくない	45	18	27	0
・環境に馴染めるか心配、精神的な負担が大きい	42	9	33	0
・通学路の不安(遠くなる、危険になる)	35	6	28	1
・子どもの増加は一時的だと思う	30	11	18	1
・教室が足りるのであれば必要ない	28	15	13	0
・兄弟が別の学校になってしまう	25	7	18	0
・説明や情報が無い	21	10	9	1
・なぜ26年なのか理由が分からない	19	6	13	0
・意見が聞かれず、勝手に決められている	18	11	6	1
・経済的な理由(制服など)	18	3	15	0
・子どもや地域の為になるとは思えない	15	5	10	0
・線路で分けるのは不満	14	9	5	0
・通学班、子ども会等、地域のコミュニティが変わってしまう	14	4	10	0
・高坂小で卒業したい	13	4	9	0
・桜山小学校は子どもが少なくなれば高坂小学校と統合すればよい	12	5	7	0
・白山中は部活が少ない	11	2	9	0
・愛着があるから高坂小にいたい	10	4	6	0
・希望の部活が出来る南中に行きたい	9	2	7	0
・変更時期が早すぎる	9	2	7	0
・高坂小を建て直す際の見通しが甘い	7	2	5	0
・2回の審議で決められるものではない	7	3	4	0
・桜山と白山の校舎の老朽化、耐震性の不安	7	3	4	0
・家族の母校だから	5	3	2	0
・新しく入ってきた子どもの為に、昔からずっと暮らしてきた子どもが出されるのは納得いかない	5	2	3	0
・プレハブでもいい	4	0	4	0
・高小、南中に通うつもりで家を買った	4	2	2	0

【どちらともいえない】	合計	東	西	不明
・説明や情報がない、通学区が分からない	23	13	10	0
・校区変更対象外と思われる区域に住んでいる	6	6	0	0
・変更時期が早すぎる	5	4	1	0
・住んで間もないので分からない	2	2	0	0
・先のことは分からない	2	2	0	0

※東:線路より東地区 西:線路より西地区 不明:地区明記無し

・設問3の「PTA本部へのご意見ご要望、教育委員会へのご要望」の回答として多かったもの  
※複数回答有

【要望】	合計
・教育委員会には説明会を行い、直接意見交換をさせて欲しい	62
・子どもの意見を聞いてほしい	19
・選択性にしたらどうか	13
・高坂小全体を白山中に進学させたらどうか	7
・変更は新入生からにして欲しい	5
・あずま町を野本小校区にすればいい	2



# 平成 24 年 9 月 24 日付高坂小学校 P T A 通学区域見直しアンケート回答内容一覧

設問 1. 2年後の平成 26 年度に通学区域が変更になることについての回答<理由>及び  
設問 3 にお寄せ頂いたご意見ご要望一覧  
高坂小学校 PTA 本部作成

<p>・学校が変わるといことは、子供にとって環境が変わりすぎてしまい、子供達がかわいそう。(反対)</p>
<p>・高坂小校区に関しては、教室不足にもならず、生徒が増えても対応可能なので問題はないが、桜山小→白山中の生徒の少なさには問題だと思う。少ない生徒、クラスでは、ずっと同じ教室環境により子供によっては精神的な問題もあるのでは…。(どちらともいえない)</p>
<p>・正確な情報がなにもない。校区が変更になる時期だけ決まっいて、場所が決まっいてないなんてありえない。市に対して不信感が募る。子供たちがかわいそうだ。子供たちのことを一番考えて行動して欲しいです。一過性の人口増に踊らせて高坂を2つに分断するなんて地域への愛情がかけられない人間のやることでしょう。(反対)</p>
<p>・児童増加は一時的なものと思われるため。ついこのあいだも緑山小が閉鎖しましたが、あの時も父兄の反発があったが実行されてしまった。それでも桜山小の児童数は増えることはなかった。ピオニウォーク街ができたけれども、今、子供の数が全体的に少なく、今の増加も一時的なものではないでしょうか？(反対)</p>
<p>・保護者に対してしっかりと説明がなされないまま事が進められていくのは良くないと思います。(どちらともいえない)</p>
<p>・人数増加は一時的なもので、そのために子供達の環境を変えてしまうのはどうかと思います。(反対)</p>
<p>・何らかの対策はとらないといけなと思うが、具体的に校区変更の線引きなどが見えていないので、26年度というのは早すぎると思う。もう少し具体的にじっくり見直した方がいいと思う。小学校区は変更せずに、中学校を全校区(2校区)南中へ変更した方がいいと思う。南中は20~30年前にくらべて生徒数も少ないので、白山中と合併しても対応できると思う。*一部案として出ている線路の東西線引きは乱暴すぎると思う。(どちらともいえない)</p>
<p>・高坂小学校の教室が足りるのなら、小学校の通学区域の見直しは必要ないと思います。現3年生は児童数が少なく、仮に線路で分けるとなると桜山小の児童の方が多くなるのではないのでしょうか？子供たちも不安がっています。子供たちの安全を一番考えて欲しいし、心の安定も大切だと思います。無作為アンケート、幅広い意見も大切かも知れませんが、実際に子供を持つ親の意見も、もっと積極的に聞くべきで時間をかけて審議してほしい。私たちが耳にするのはうわさばかりで、本当のことが知りたいと思っていました。同じ高坂小でも家庭によって考えは違うと思いますが、できるだけ多くの意見を尊重してもらえればと思います。今回、校区の見直し変更がなくなったとしても、南中への通学路など本当に安全といえるのでしょうか？少子化で今後も同じ様な問題が必ず出てくると思います。教育委員会や市には、もっと長い目で計画を立てて欲しいと思います。26年度に変更するのもおかしいと思います。そして情報を表に出して欲しいと思います。(反対)</p>
<p>・再びベビーブームが来るとは予想されない。高坂小収容人数クリアであるので、児童数増加に対して問題なし。児童、子どもたちの精神面を第一に考えてほしい。入学時の思いや決意がかわってしまうこと、校歌も卒業時に変わってしまうこと、これらは大きな痛手となるであろう。分かれる理由に親が納得しなければ、相手方の親とも関係が深まらず、溝は埋まらないと思う。対立することも考えられる。(納得する理由は見つからないと思うが。)学級学校運営が上手くいかない場合もあるだろう。相手校の要望もあるとは思いますが、是非反対の意見をお願いします。子ども達のためです。小規模校のほうが合併するということは難しいでしょうか。全員一緒に同じ所に通えるなら心の痛みもケアされると思います。(反対)</p>
<p>・南中学校へ通っている途中で白山中へ…と言うのは子供達に不安をあたえると思うのでやめてほしい。(反対)</p>
<p>・南中は遠い為。(賛成)</p>

<p>・交友関係。(反対)</p>
<p>・今までの校区という事ではなく、遠い近いという面で振り分けたほうが良い。小学生も中学生もあまり遠いところに通うのは防犯上好ましくない。それだけでなく、人数があまりに違いすぎるというのも是正すべき。無作為抽出アンケートは件数が少なすぎる。既に卒業している、関係がない家庭の意見ではなく、現在小、中学校に通学している人、プラス入学予定の家庭全部に意見を聞くべき。(賛成)</p>
<p>・区域変更が子どもたちや地域のためという主体的理由が中心とは思えない。他市町村で区域を見直して数年後、子どもの数のばがが大きくなってしまい統合されたのを知っているため。(どちらともいえない)</p>
<p>・最初に校長先生からお話を聞いたときには、高坂小の児童数が多くなり、教室が足りなくなるために学区を分けると聞いたように思いますが、平成30年度の予定児童数を上回る収容能力を有しているのならば、学区の分割は全く必要ないと思います。桜山小、白山中の小規模化の対策は、例えば桜山小、白山中を同一の校舎にする等で対応できるのではないのでしょうか？学区が変わることは児童保護者とも大きな負担だと思います。受け入れる側にも大きな負担だとも思います。今までは高坂小の教室が不足することが学区見直しの原因だと思っいていましたが、今回の報告で教室が不足しないこと、桜山小、白山中の小規模化への対策のための学区見直しが含まれていることを知りました。本来でしたら、教育委員会もしくは、市からきちんとした説明があつてしかるべきだと思います。4校の保護者と教育委員会が向かい合うような説明会の開催を希望します。今後ともよろしく願ひします。(反対)</p>
<p>・急すぎると思います。2年後までにどの様に変更になるのかを、市民全てが把握する位事前説明し、そこから、2年後位から実際の変更にする位の余裕がほしい。(反対)</p>
<p>・小学校はしかたないのかと思いますが、白山中は老朽化していますし、1クラスずつしかないので、南中に通ってもらおうというのもいいのではないかと思います。(反対)</p>
<p>・子どもが高坂小を気に入っており、子どもの意見を尊重したい。友達と離れたくないと言っている。子どもの気持ちを大切にしてほしいです。(反対)</p>
<p>・個人的には、自分の子どもが26年度は中学二年生の時なので、変更による不安や心配がある為。今後、児童数が増えても、学年、年令にばらつきがあるので、高坂小で大丈夫なのではと思われます。(反対)</p>
<p>・子供が安心安全の慣れたところで通学を望ましいので宜しくお願いします。(反対)</p>
<p>・教育委員会でのアンケートに記載されている、調査の目的はどこまで信憑性があるのでしょうか？この先十年で果たして教室は確実に足りなくなるのでしょうか？「少人数制教育」を図る為に高坂小から桜山に地区変更させる…それだけの為に地区を分けるのですか？あまりにも安易な教育委員会の考えに高坂小学校の子供達が犠牲になるのですか？その中で見えるのが子供達の少人数制です。高坂野球は24年度、全体でも34人という中で活動しています。桜山小学校はそれ以上に人数がいると聞いています。校区を分けることにより少年団はなくなるでしょう。校区を分けるということは、学校内問題以外にも影響が出てくる団体や地区、子供会があることを理解しているのでしょうか。(反対)</p>
<p>・通学距離が近くなるので賛成です。子どもが増える事で、白山中の部活の種類も増えると思うので、早めに見直しをした方が良くと思います。(賛成)</p>
<p>・2年後でもしかしたら、変更になった場合、上の子が南中で下の子が白山中になるのは困る。(反対)</p>
<p>・個人としては直接関係ないので何とも言えません。目先の人数ならではなく、5年10年15年後を見越した対応をして欲しいです。これまで築いてきた人と人とのつながりが、地域の歴史がかわってしまうことを考えると、簡単に線引きできないと思います。市民体育祭のたびに行政の区分と校区分がバラバラで、不自然さと校区変更が残す傷跡の深さを感じます。まず、市として見直し対象の地区をどう考えているのか示して、その対象地区の全住民(小学生がいるいないにかかわらず)に意見を求めたいと思います。(どちらともいえない)</p>
<p>・そもそも、高坂小学校全校児童保護者に学区変更事案について、保護者説明会を開いていない。通学区域見直しという就学予定児童、在校児童の保護者にとって重大な事案が当事者の保護者を無視したかたちで決定している。通常このような重大な事案は各学校、就学予定児童の保護者が周知していないのはおかしいが、実際、在校</p>

児童の保護者ですら知らない、又は知らなかったという行政だけの意見で決めている。なぜ、保護者を無視して話を一部の関係者のみで進めているのか明確な答えを知りたい。無作為アンケートで一番反対が予想される高坂地区が意図的に少なく思えるが…、本当に無作為なのか資料等もまじえて明確な回答をお願いしたい。夏休み前、学区見直しのアンケートも行政の都合で作られているように感じ、私たちには結果のみを知らせるとするのは、あまりにも一方的で怒りすら覚える。学区見直しについては白紙に戻し、ちゃんと就学予定児・在校児の保護者の納得をえてから話を進めてほしい。(反対)

・基本的には見直しをしなければならないことは分かりますが、実際は賛成まではできません。自分の子供の学区が変わる事には賛成できないからです。我が子は親の仕事の都合で別市町村の園にした為、小学校入学時に友達がなくて、ストレスで病気になりました。最近でも友達が多い方ではなく心配です。そこで下の子供は、近くの園に入れさせたいばかりです。もし校区が変更になれば、上の子同様に下の子の友達の問題も出来てしまいます。通学区見直しは児童収容能力を大きくこえてから見直すべきである旨、教育委員会へ要請してもらいたい。他校が児童数減少問題と直ぐにむすびつけないで頂きたい。この問題は、もっと慎重に検討議論を行う必要があります。(反対)

・自分自身も南中を出ていて部活動も充実している。新校舎になってからは、生徒と先生の距離も縮まり環境も良いと聞いているので、通学区域変更は反対。実際、どこで区切られるのか詳しい話もなく、噂話だけで騒がれているのはどうかと思う。(反対)

・1クラスの数人が少ないほうが学力向上に期待できる。途中で学校が変わる事に抵抗がある。(どちらともいえない)

・部活動の充実がみえてこないから。子供達の入りたい部があるかどうか不安。(反対)

・通い慣れた通学路のほうが安心できる為。(反対)

・高坂小へ通わせたい。友人関係の問題。(反対)

・よくわからない。(どちらともいえない)

・高坂小学校を建て替える時点で、教室が足りなくなる事は分かっていたはずですが。今更、足りないから違う学校に行けと言われても納得できません。(反対)

・今よりさらに学校までの距離が長くなる。友達と離れてしまう。下の子も高坂小に入る予定で職場近くの保育園からわざわざ転園したのに、意味がなくなってしまいます。高坂小の人数も数年で落ち着くと思う。教室不足にならないのならわざわざ分ける必要なし。(反対)

・白山中の部活数が少なくかわいそうで行かせたくない。南中の方が近いので通学が安全。転校させたくない。南中の制服を下の子にお下がりする予定なので、白山中に行く場合、制服などを買うお金がない。桜山小、白山中とも閉鎖的なイメージがあり行かせたくない。兄弟で別々の学校に通うことにとっても抵抗があります。上の子と同じように高坂小→南中にしてほしいです。転校させたくありません。リファージュの児童が増えるのは、あと数年のことで、数年後には落ち着くことが明白です。ほんの数年のために、今、変更する必要はないと思います。反対する保護者が多いのに勝手に変更しないよう要請します。せめて選択できるようにしてほしいです。(反対)

・桜山小学校と白山中学校の場所を知らないの、どういう通学路になるのかもわからないので、どちらともいえません。2年後に変更が決まるなら、具体的に地区名とその年度にあたる児童の親に、説明及び意見交換をしてほしいです。該当しない地区のアンケートは意味ないと思います。(どちらともいえない)

・上の子供が南中に行っているの、今さら下の子供で別の中学へは通わせたくない。上の方ばかりで話を進めず、現状をもう少し下にも話してほしい。教育委員会の早く話を進めたい気持ちばかりが先行し、該当する親の意見が反映されていない気がする。(反対)

・線路の東側西側で分けるのは、アバウトすぎると思う。家から桜山へ行くには、人気のない道も通るし、安心してあずけられない親としての気持ちも考えてほしい。子どもの人数的なものも大事だとは思いますが、その他のことも考えて下さい。メリットもあるがデメリットもあります。簡単に考えすぎではないでしょうか？(反対)

・兄弟で違う学校に通わせたくない。桜山小まで通学距離が長く不安。自宅から近い学校に通うのが良い。(反対)

・小学校が遠くなる。(反対)

・どちらとも言えないから。(どちらともいえない)

・途中から学校を変更したくない。(反対)

・いずれまた高坂小も人数が減ってくると思うから。せっかくきれいな校舎になったのに、転校したくないから。南中に行かせたいから。(反対)

・高坂小を半分に分けるなんてひどすぎる。小学生というデリケートな時期に学校を変更することは子供にとっていいものとは思えません。子供の心を一番に考えてもらいたい。今の状況を維持し確保するのが子のためであり、市や教育委員会の仕事だと思う。(反対)

・児童数が、これからずっと増え続ける可能性は低く、少子化の現在、緑山小学校のようになくなって行ってしまうたら、また学区の変更をしなくてはならないかもしれないので、現状のままで良いと思います。(反対)

・変更は必要と思えますが、2年後というのは検討及び、準備期間が足りないと思います。(どちらともいえない)

・大好きな慣れた学校、お友達と別れてしまうのがかわいそう。色々な事情もあるかと思うけど、入学した子、これから入学を控えている子が、高坂小学校で学び卒業できることを願います。(反対)

・通学区域がどこで線引きになるのか分からないから。(どちらともいえない)

・高坂小へ通わせたい。習い事(スポーツ少年団)が変更になると困る。(反対)

・個人的な意見ですが、現在中学2年(南中)の長女がいます。制服、体操着、ジャージなど上の子の物を使用したいと思います。南中の方がどちらかといえば近い。個人的なことばかりですみません。どちらかの学校になったとしても、教育委員会の方から、きちんと説明してほしいです。(反対)

・通学区域見直しの話は知っていたけど決定区域も分からず、はっきりした事実も不明なのに、賛成か反対かなんて今決められない。(どちらともいえない)

・通学区域の見直しは、どの地区から当てはまるのかがわからず、賛成とは言えない。一番は、子供達が安心して安全に通う環境かどうか。冬場下校が遅くなった時、明るい場所なのかどうか…。比較的暗い場所が多い気がします。現状でも暗い場所などがあり、通学路の状況をわかっているのかどうか…。(どちらともいえない)

・5年生以下の意見を尊重して下さい。(どちらともいえない)

・体操着など上の子の物を使おうと思っているので、新しく買うのは大変です。白山中は部活が少なくてやりたい事を出来なくなります。兄弟と同じ中学校に行かせてあげたいです。昔、南中の生徒の人数が増えた時に、白山中に受け入れられないかという問題があった時に、白山中の学力が下がるからと受け入れなかったのに、今になって受け入れるのでしょうか？高坂ニュータウンの為に建てた学校ですから、少なくなったのなら、廃校にしまえば良いと思います。(反対)

・安全面等を考えた時、わざわざ遠くの学校に行かせたくない。今更、慣れ親しんだ学校から変わるのには抵抗がある。この先ずっと人口が増え続け人の動きが無い限り、高坂小も桜山小の二の舞になってしまう日が来るのではないのでしょうか。(反対)

・児童数の増加は一時的だと思います。(桜山小、白山中がその例だと思います。)自分の子供を高坂小、南中に通わせたい。(親も通っていたので…)子供も今のままで良いと言っています。(友人や環境が変わるのは嫌だそうです。)児童減少は、野本小にも言える事だと思います。東口の新しくできた地区の方々だったら、野本小に通えるのでは？そういった案はないのですか？教育委員会は、もっと地元の意見を聞いた方が良いと思います。説明も不十分。学区が変わるのは、地元の子供たちです。高坂小を改築する時から児童が増加するのは、分かっていたはずなので、それを見越して教室も作ったはず。今更学区見直しはおかしいです。(反対)

・小学校の規模に差が無い方がいいと思います。(賛成)

・高坂駅線路より西側の区域の一部は、線路、道を渡るので、桜山小のほうが良いのでは。高坂小学童保育も人数が増えているので、通学区域と学童の関係も考えていただきたい。高坂小より南側東側地域は白山中への方が近いので白山中にしたらどうか。桜山小、白山中も人数が増えたほうが色々な人と関わりができるので良いと思う。区域内の小中学校に通学している児童、親の意見をきちんと聞いて欲しい。沢山の意見が反映されるようにして下さい。一部の人の意見や、当事者でない方の意見で決まることのないようお願いいたします。(賛成)

・まだ、どこの地区が変更になるのかわからないので、それを早く決めて欲しい。2年後と言われても実感がない。(どちらともいえない)

・途中での転校は避けたいが、児童数が増え過ぎてマンモス校になるのも良くないと思う。(どちらともいえない)

・中村教育長をはじめとした教育委員会の一貫性のない説明に、不信感が募るばかりです。本当に子供たちのことを考えているのであれば、無作為抽出アンケートではなく、在校生と将来入学予定の家庭への全戸対象のアンケートをすべきではと思っています。教育委員会へは、もう少し丁寧な説明と、アンケートのやり直しを要望します。各学校への入学予定者をできる限り確実に把握する必要があるのではないのでしょうか。(反対)

・無作為アンケートを回答した人に話を聞きました。2人に聞きましたが、両人とも子育てをすでに終えている方で、小学校の子供がいない人でした。アンケートは回答し提出したが、すでに子供が通っていないのに、無責任なように回答に困ったと言っていました。やはり小学校に通っている人を中心にアンケートを実施し、教育委員会と保護者と学校と、みんなで話し合う事をし、それから考えて聞くことが重要なのではないかと思います。子ども達にとって一番良い方向に向かうように、協力できる事は協力していきたいと思っています。(どちらともいえない)

・線路を基準に変更された場合、対象地区に入らないため関心が薄い。ただ、子供にとって仲の良い友達と途中で別れるのは辛いと思う。卒業までは同じ学校でいさせてあげたい。2年後の26年度には新入生はかなり増えるのでしょうか。今ある教室では足りなくなるのですか。実際のところを数字で具体的に知りたいです。(どちらともいえない)

・区域見直しが決定となれば対応せざるを得ないが、学校が変わる子供の負担や親の不安を考えると反対も考える。少子化対応を考えると賛成もしたいので現時点ではどちらともいえない。(どちらともいえない)

・在校生の区域を変更させたとき、高坂小は大分減って桜山小は急に大人数になるので、学校が落ち着かない状態になると思う。小学校は特に6学年あるので、1学年1クラス増減すると…。段階的にできないのかと思う。自宅のある宮鼻からは白山中の方が近く、南中までの道のりは危険な場所があるため、中学校の分け方を考え直してほしい。距離的な難しさもあるが、中学校を選択できるのも良いと思う。各学校の特色を持って、子供たちが部活や勉強など、力の入れたい所を選べると、中学校の先生たちも力が入り、良い学校になるのでは…。(反対)

・高坂小は、あずま町の開発に伴い増えたので。一方、桜山小は少子化が進んでいるため。(賛成)

・近くにある学校で著しく児童数の増減がある場合、区域の見直しで無理のない児童数を保つためには、よい事だと思う。しかし、反面やはり兄弟で違う学校に通うことになる場合も必然で、自分の家庭が該当すると、賛成という意見も変わると思う。あくまでも第三者の立場で考えた結果では賛成。(賛成)

・通学区域変更対象地区が不明のまま、かつ適切な説明や保護者からの承諾もなしに決められるのはいかがなものかと。現場、当事者の声をよく聞くべき。学校の小規模化は問題ですが、安全な通学路、通学距離を確保して欲しい。また子どもにとっては友人関係等あるので子どもの意見もきいてほしい。(反対)

・26年度から変更ということは5年生が中1に入学する年ですが、親の視点から言えば制服も学用品も買い直す事はないので、後は、白山中の環境が気になる程度です。通学路の距離も南中より白山中の方が少し近いし、後は、子どもの意見もあるので慎重に進めたい。正直、通ってみないと何が便利で何が不便なのか分からない。上の子が南中卒なので、南中の方が馴染みはあるし、制服や体育着もあるので使用できるから助かる。(反対・どちらともいえない)

・説明会を受けた上で判断出来ればよいと思った。(どちらともいえない)

・将来的に通学区を変更するとして、何故26年度なのか。一年の周知期間があるという事は、あと半年で詳細が決定するという事だが、あまりにも性急すぎないか。何の説明もなく一方的決められて不満に思う。たった2回の審議で通学区域の変更を決定するのは、あまりにも一方的で我々をないがしろにしている様に感じます。又、そんな大切な事を、たった2回の審議で決定してよいのか疑問に思います。教育委員会には、まず、現状と変更予定の内容説明、それとその説明を受けた上でのPTAからの要望も踏まえた上での熟慮した審議の検討を強く希望します。(反対)

・通学するにあたり最短距離=安全ではない。歩道の整備やスクールゾーンの設定など、総合的に最もリスクの少ない通学を考えるべき。広い視野、知識を持って、妥当性・正当性を客観的に判断できる組織を目指してほしい。特に不満がある訳ではありませんが、「あるべき姿」を考え行動する事が大切。(どちらともいえない)

・教室不足にならないのであれば(最大で24学級対応可能ならば)通学区域を変更する必要はないのでは。子供達は高坂小学校に通いたいと言っている。通学区域の変更は反対ですが、審議会で通学区域が変更になる場合、桜山小・白山中の教室をきれいにしてほしいと言う声をよく聞きます。(反対)

・双方の意見もあると思うので、どちらがよいという事ではないが、きちんとした話し合いが必要だと思います。(どちらともいえない)

・線路の東と西という分け方には無理があるように思う。線路ではない線引きをするべきだと思う。(どちらともいえない)

・白山中を大きな校舎に改装して高坂小学区の子供みんな白山中の学区にいれるのはいかがですか。我が家から南中に通うよりも白山中の方が距離も近くなります。わざわざ遠くに通わせる意味も分かりません。南中は21年度時点で東松山2番目に大きいのですよね?遠くの人が多い所に入れてきちんと学べるのでしょうかと思います。(賛成)

・きちんとした説明の上で判断したいです。プレハブ校舎では新校舎を建て直した意味がないと思います。又、桜山小や白山中の父兄の意見を聞くと、子供の少ない学校生活は子供達にとってプラスにならないと思います。高坂小だけでなく桜山小の父兄の意見も聞く必要があると思います。高坂小の子供だけでなく、地区全体の子供達のためにより良い選択を希望します。子供達が安全に元気に通学することが親の一番の願いです。(どちらともいえない)

・子供が増えてきたので分離した方が良くと思う。アンケートはもっと小学校に通っている家や、それに近い人取るべき。分からない人にアンケートを取っても無意味だと思う。(賛成)

・桜山小学校、白山中学校の小規模化に対応できるのは良いと思うが、一部案で出ている東側と西側の線引きで分けた場合、学校が近かった子が遠くなり、仲の良い子と離れてしまうなど問題もあり、どちらともいえないです。(どちらともいえない)

・現在4年の子は高坂小で卒業させたい。(どちらともいえない)

・二年で通学区域を変更することは、あまりにも時間がなく、また高坂小の校舎に生徒が入れない(最大840人)程、生徒が増加するのか分からないため。逆に二年で変更できるので、あれば、もっと増えてから考えても良いのではないかと。今やることではない。保護者、子供達に理解が得られるまで話し合いをしてほしいと思います。(反対)

・線路で学区を分けられてしまうと、同じ地区の子と同じ学校へ通えない。また、現状の学区のままの方が学校が近い。兄弟で違う学校に通うことになってしまう。桜山小、白山中の少子化の為だけで、高坂小のことについて、子供達にとってより良くしようとしたものではない気がする。最終的に学区を変更するにしても、時間もかけず説明もなされず一方的に変更していこうとするのはおかしいのではないかと思いますし、正直、子どもは(高学年な事もあり)高坂小の子、皆一緒に中学に進学するものだと考えており、今回の事、実現する事にとっても反対しています。ただ少子化だからというのではなく、高坂小の子供たちの為になるようにしていただきたいです。(反対)



・桜山小も白山中も近くにあるので変更になっても問題はないと思う。駅からバス通学も可にしてほしい。(賛成)

・子供会等の地区の分断や学校が変更になる。子供にとっての学校までの距離の事。中学に関しては、3年生になる子にとって受験年に移動や、部活の面での有無など、さまざまなマイナス点がある様に思う為。(反対)

・教室不足でプレハブ校舎では、新築学校に相応しくない。なぜ東口区画整理で人口が増えることが予想されるのに、学校が(教育委員会が)それに対応していないのか。小学校区域は重要です。高坂周辺に引っ越しを検討している方々は、このような学区変更を知らないと思います。変更することになっても十分に周知期間を設けて下さい。26年度では早すぎます。小学校区を決める前に、中学校区を早期に決定し高坂小卒業生が白山、南中に分かれることだけは避けるべきである。(賛成)

・通学距離が短くなる場合のみならば、桜山に行くことになっても良いのかもと思います。高坂地区の方の人数が増えていくと考えられるので、桜山小との人数の差は広がっていくと思います。(賛成)

・昔の様に桜山小、白山中を無くして、高坂小、南中に。10年20年後にまた同じ事がくりかえしていそう。中学校での部活が白山中は少ない。中学の通学区域で白山中を無くして、野本小を東中とか中学の方を考えた方が。子供達のためになっているのか。白山中の大人のエゴ?(反対)

・友達関係が崩れてしまう。友達と離れ離れになりかわいそう。今まで高坂小学校に通学していた子供達を移動させ、引っ越してくる子供達が高坂小に入ることはおかしいと思う。高坂地区では母校に通わせるために住んでいる親が多い。桜山小、白山中が少子化なら閉鎖してはどうか。線路で校区を分けるのは絶対反対。近い将来高坂小も少子化になるのではないか。校区変更の地区が不明のまま、変更時期だけ決定されているのはおかしいと思う。(反対)

・中学に入学した時の通学が心配です。このまま高坂小の児童だけ増えるのは不安。(賛成)

・高坂小は児童が増えても、それに対応する収容力があるため。教育委員会は現在小学校に通っているPTAの意見を反映した校区変更をして欲しい。(反対)

・直接関係ある高坂小の保護者に向けての詳しい説明もなく教育委員会等で協議・決定などは、とても理不尽な事だと思います。順をおって説明して欲しい。教育委員会の方、桜山小、白山中の少子化も問題ですが、今の高坂小の子供達の学校生活、友達関係など、対象となる子供の心情も良く考えて下さい。(反対)

・高坂小の生徒の増加状況、桜山小の減少状況はよく理解できました。しかし、小学校にやっと慣れてきたところ、数年後にと突然友人が変わり、学校自体も変わると子供の精神的負担が大きいです。又、桜山小までの通学は現在の住まいから遠すぎ引っ越しをするか、親の見守りを強化しないと通う事ができません。どうぞ子供側の立場で考えて下さいますようお願い致します。平成30年度の予定児童数を収容可能と伺い、何故こういった型をとるのか理解に苦しみます。又、増加を把握していたなら、新築する際にもっと大きい建物にするか等対応できたはず。通学区域も東側・西側(線路をはさんだ)と大まか過ぎて不安です。どうか生徒の安全と快適な学校生活を一番に考えて話を進めてくださいますようお願いいたします。(反対)

・南中に通っていて、途中から白山中になった場合の、制服・体操着はどうするのか、部活動はどうなるのか、環境の変化など不安な点が多い為。中学を自由区(どちらに進学するか)家庭で選べるようにしてもらえたら…と思います。(反対)

・高坂小学校に入学して約1年半がすぎ学校生活や通学にも慣れてきたのに、途中から他の学校に移ると言われても不安や心配が多くなるので、このまま高坂小を卒業させてあげたいです。下の子が小学生になる時も上の子と同じ高坂小に入学させたい。(反対)

・いずれ変更をせざるを得ない問題だと思うが、それまでの問題提示が乏しかったので意見を述べづらい。高坂小学区内で、もう少し話を聞いてまとめる必要があると思う。線引きについても、もう少し慎重に決めたいと思う。子供会の地域が分断されるのは良くないと思う。高坂小の児童数が増加するのも一時的なことだと思う。将来的に見て、一世代先はまた、人口減、児童数減ということにもならないか心配である。(どちらともいえない)

・このままでは、高坂小の教室不足と白山中の生徒減は避けられないと思う。(賛成)

・ハッキリ言ってどうしていいのかわからない、どうしたいのかわかりません。(どちらともいえない)

・変更地区が不明のため。(どちらともいえない)

・桜山小、白山中の状況を見ると、高坂小、南中との児童・生徒数に差がありすぎるので、区域を見直すことには賛成。しかし具体的にどの様になるのか全く先が見えないので不安や心配も多く、そのやり方が正しいのかわからないので結果的にはどちらともいえない。(どちらともいえない)

・高坂小学校を大きくするより、少ない小学校に回した方がいいと思うから。ただ通う距離を考慮したうえで…。(賛成)

・このまま児童の人数が増えれば教室が足りなくなってしまう困ってしまうと思う気持ちもあれば、今まで一緒に勉強したり遊んだりしたお友達と離れ離れになってしまうのは、と思う気持ちもありどちらともいえません。(どちらともいえない)

・どの様に通学区域が変更になるかわからないし、もし家が学校が変わるとなると、高坂小を通り過ぎることもなるので、そこを考慮して変更案などがあると良いと思います。(どちらともいえない)

・桜山小が1学年1クラスしかないという事。今後ピオニウオーク近辺の住宅が増えていき高坂小の子供の人数が増え、教室が足りなくなりそうだから。(賛成)

・せっかく慣れてきた学校が又変わるのはいやだと思う。高坂小までの距離も考えて、家を購入しているのであまりに勝手すぎる。最初から桜山小の少子化対策ありきのやり方が全面に見えていてやり方として公平でないように思う。校区の変更もさることながら、放射能対策についても中村教育長の発言や方針について、権力を振りかざし、強引なやり方が目立ちます。教育長という立場から保護者の声にもっと耳を傾けるようにしていただきたいと強く願います。(反対)

・線路の東側、西側というだけで区域が変更になる事が気に入らない。在学している子どもの親の意見を聞いてほしい。(どちらともいえない)

・教室不足になるとは思えない。対象地域がはっきりしていない。説明がなく、無作為抽出アンケートの結果だけで通学区域が変更になるのは納得できない。(反対)

・中学校に関しては、南中より白山中の通学路の方が安全で通いやすい。白山中の名称を高坂中に変えてほしい。児童の人数や希望に見合った学童クラブの調整もあわせて行ってほしい。(賛成)

・学校対学校の中では、変更して児童数を平らにするのは良いと思いますが、子どもがどう思うかが心配です。友達や兄弟の関係もあると思います。(どちらともいえない)

・慣れ親しんだ学校で全員一緒に卒業出来ないのは、あまりにも残酷です。仲良しの友達と別れること、思春期の一番大切な時期に、このようなことがあってはならないと思います。この話を子供たちに伝えたら泣いてしまいました。友人の子供も大泣きしたそうです。教室も足りなくなる心配もないという事で、なおさら学区が変わることの意味がわかりません。うちの子供たちは2人ともプレハブ入学でしたが、プレハブが悪い環境だったとも思えません。どうか全員、高坂小学校で卒業させてあげてください。(反対)

・教室不足の観点においては、学区編成見直しの必要性は感じませんが、生徒数のバランスが悪くなる事で、同市でありながら教育環境の差異が生じるのではないかと懸念します。(どちらともいえない)

・友人、地域活動のことを考えると賛成はできないが、桜山、白山の事情も理解できる。

① 学生と②兄、姉が在学している場合には区域変更がないよう(つまり①転校しない②兄弟姉妹で同じ学校に通える)配慮されるなら区域変更も可とする。(どちらともいえない)

・児童数の増減は一時的なものにすぎないから、結局数年後には、また同じ問題が出ると思う。(反対)

・説明等は必要と思いますが、学校を造る予定がない事は前から聞いています。ある程度はもう仕方がないと思いますので、どこかの地区で区切るなどして早く決めてしまった方がいいのでは。無作為アンケートが来た家の方から話を聞きました。子供がいない人とかお年寄りの方達が「うちに来ても子供いないからわからない」という話を何度も聞きました。アンケートは意味があったのかな?と思います。(賛成)

・校区変更の件は話が出たばかりで、2年後の実施になるなんて、詳しい計画も説明もなく変更だけ確定しているのはおかしいと思います。教室もこの先足りるのであれば、変更する必要もないと思いますし、高坂小の子供達の事を考えてほしいです。本当に必要なのでしょうか。高坂小の子供達、保護者の意見を聞いて教育委員会へ伝えて下さい。よろしくお願いします。学校のお手紙で初めて知って驚いている方も多いと思います。(反対)

・兄弟姉妹の関係もあるだろうから…。すごく難しい問題でうまく意見がいえません。(どちらともいえない)

・高坂小の学区からの変更はイヤ。小学校の学区はそのまま高坂小がそのまま南中か白山に進学できるようにして欲しい。そもそも、高坂小の一部を白山中に進学させても人数が大幅に変わらないと思うので、何の意味もないのでは？高坂小を分割しても、桜山、白山の小規模化をくい止めることはできないと思われるので、高坂小学区はそのままにして欲しい。(反対)

・子供が絶対に嫌と言っている。小学校も変わるのであれば、なぜ近くに高坂小があるのに通学時間が5倍ほどかかる桜山小に行かなければならないのか。新しく来た子供達のために、元々いた子供達が追い出される形になるのは納得がいかない。(反対)

・うちは高坂小の近くなので学校が変わる事がないので、変わってしまいそうな方の意見を聞かないとわかりません。(どちらともいえない)

・在校生を対象とせず、これから入学してくる生徒達から区域を見直せばよいと思います。(反対)

・まだ高坂に住み始めて年数が経っていないので、東松山のこと、高坂地区のことなどわからないことが多すぎるので、通学区域の変更は気になることですが、賛成とも反対とも言えないからです。(どちらともいえない)

・時期は決めなければいけないのはわかるが、急に決まって対応できるのだろうかかなと思います。校区の見直しは、子供の安全を最優先に考えてほしいです。(どちらともいえない)

・区画整理事業に伴って、住所等も変わり今まで通りというのは難しい所も出ていると思うので、子供会や自治会の割り振り等も含め、全て見直しが必要なのではないかと思います。(賛成)

・引越しが決まっていて、市外へ転出する為。(どちらともいえない)

・教室不足解消の為。(賛成)

・子供の学校への通いやすさ。(賛成)

・今まで仲の良い友達と離れてしまうから。実際、増えると思うが、本当に足らなくなるのだろうか。大人の都合ではなく子供達のことを一番に考えて頂きたいと思います。(反対)

・せっかく慣れてきた高坂小学校、友人とバラバラになってしまうのも、かわいそう。児童数の増加は、一時的だと思う。(どちらともいえない)

・内容が決まっていないのに、見直しの時期だけが先に決まっているのはおかしいと思います。もっと当事者の意見を聞いて、協議し、納得した上で、時期を決定するべきだと思います。(反対)

・ジャージなどもそろえたのに、また買いかえるという事でしょうか？全部、用意をしてくれるという事であるなら考えます。2年後に変更にするというのであれば、2年後の新入生から変えるべきだと思います。行きたい人が行けばいいのではないですか？親よりもっと子供がもっといやがっています。(反対)

・今のままでは、到底納得のいくような変更はできないと思う。高坂小の教室不足に問題がないのであれば、変更の必要もないのでは。通学区域が変更になる場合、該当する区域への具体的な理由、説明を教育委員会がすべきだと思います。(どちらともいえない)

・高坂小の今後の児童の増加は、一時的なもののように思います。ただ、桜山小、白山中の児童数の減少は今後の課題として残る気がします。通学区域を線路で分けるというのは雑に思えます。通学区域の見直し案として、線路で分けない場合を想定して、いくつか案を示して欲しいと思います。なかには納得のいく案もあるかもしれません。(どちらともいえない)

・色々な面でめんどろなので。好きな学校へ行けるように自由に選べる方がいいのでは？(反対)

・中学が南中のままだと、通学路が危険だと思う。(どちらともいえない)

・兄弟、姉妹が別々になる為、兄弟、姉妹の制服が着られない。部活が少ない。友達と別々になる為。高小、南中にいるのに途中で学区が変わるのは困るし、また、制服を買い替えるのは大変(お金がかかる)です。保護者との話し合いもなしに勝手に決められては困ります。引越しを考えます。(反対)

・上の子が南中に通っていて下の子におろせるからと思い、新しく買い揃えてしまっている物があり、やはり部活面で南中の方で大会に出る予定だったので。(白山中だとメンバーがいない為)(反対)

・通学区域の案がないにもかかわらず、実施の期間が設定されているだけでは、賛成、反対の意見ができない。区域が出され、変更する人数がわかり、それぞれの学校の対策案が出てからでないと不安だけがつる。まず区域の案が出され、その必要性があるかの説明会をひらいてほしいです。(どちらともいえない)

・自宅から近くなるのは賛成ですが、桜山、白山からは学区の件で過去に拒否された経緯もあり、子供同士の関わりや親同士の付き合いが心配。一部の地域だけが対象になるのも納得しにくいと思います。白山中は部活の種類も少なく、色々な活動に支障が出たり、子供が希望する部活を選択できないなど、様々な面で制限されてしまうのではないかと不安があります。どちらかというところでは反対です。(どちらともいえない)

・桜山小、白山中ができて、30年近くになり、なぜ今…、通学区域の見直しなのか？理解に苦しむ。だけど自宅の目の前が桜山小、白山中も近いので通学時間の面では良いと思う。だけど通学するのは子供達…。とても難しい問題…。何がいいのか？通学区域の見直しをすることで、どの様なメリットがあるのか？教育委員会の考える、将来を明確に示して欲しいです。\*桜山小、白山中を高坂小、南中にするという考えはどうでしょうか？私達の子供の頃を考えると、多いとは思いますが。遠い方はスクールバスとか考えて。小1〜中3まで1クラス、ずっと一緒だと大変なこともあるのでは。(どちらともいえない)

・高坂の子供が増えるのは一時的であるため、しだいに減ってくるのが予測される。プレハブ等で対処する。千年谷公園の近くの小学校も閉鎖してしまっている。兄弟で違う学校へ通うのは親としても大変です。全員対応してほしい。是非とも通学区域は現在のままをお願いします。(反対)

・自分がどの通学区になるかわからないから。桜山小、白山中の少子化対応が理由なのはわかるが具体的な数字など、くわしいことがわからないから。変更後の学区や人数の具体的な数字など、変更後はこうなるということをおくわしく書面に配布してほしいです。(どちらともいえない)

・学校にも慣れて、友達も色々できたなか、途中で学校が変わるのはおかしすぎる。子供は強い子ばかりでないので精神的なケアを考えるとありえないと思います。少人数の方が勉強よくみてもらえるからとか、勝手すぎる。子供の意見を考えた時に途中で変わって新生活をスタートさせるのが、どんだけ精神的に大変なことか考えて頂きたい。(父の意見)(反対)

・通学時の安全を考えて近距離の通学が望ましい為。学区割に保護者の希望を反映して欲しい。(反対)

・高坂小学区なので家を購入した。次女が現在年中で、2年後小学校に入学となるが、長女と次女の小学校が異なる可能性がある。長女は学校にやっとなら慣れてきた所で、2年後に高坂小→桜山小への転校となった場合に友達とも離れてしまうため、精神的に負担が大きい。通学区が変更になる可能性がある人達を対象にアンケートを取って欲しい。(反対)

・現在楽しく学校へ通っているのに環境を変えたくありません。わざわざ遠い小学校へ通うのも大変です。今のまま高坂小学校へ通わせたいのでよろしくお願いします。(反対)

・必要であるならよいのでは？ただ反対することが最善とは思えない。教育委員会において検討した結果であれば文句はない。変更時期の決定がおかしいと言うが、日程を定めて検討するのは当たり前、何ら問題ない。反対から入るのではなく、協力の姿勢も必要。(賛成)

・家から小学校が見えるくらい近いのに通学区域の変更があると桜山小学校になってしまいます。でもあまりにも桜山小学校まで遠いので反対です。線路の東側西側で安易に通学区域の変更をしないで欲しいです。せめて、変更は中学校からで自転車通学等の見直しをしてもらいたい。(反対)

・父親の母校でもありますし、高坂小には思い入れがあります。せっかく入学したのに変更になってしまうのは残念でなりません。(反対)

・環境の変化はかなり子供の負担になる。なかなかなじめず、精神的に悩んでしまう子供もいる。区画整理に伴う児童増加は一時的なものであり、いずれ高坂も緑山や桜山のようになるのではないかと。そうなった場合、また学区を変更し高坂へ戻すのか。ニュータウンの中の学校なのだから、ある程度子供たちが育ったら児童数が減少するのは当たり前で予想できたはず。運営する費用もかかるのだから、緑山のようになくしてしまえばいい。もう高坂小に通っているのだから、今さら学区を見直されても面倒くさいし、納得できない。何の為の学区見直しなのか理解できない。教育委員会は、直接関係のある（転校する必要がある）高坂小、南中に通う子供を持った家庭の意見を参考にすべきだ。（反対）

・今の高坂小生徒数でも多いと感じる。行事等保護者であふれかえっている。空き教室が有効利用されている。全部が学級教室ではきゅうくつ。野本や新宿小も分断されている。桜山、白山の一学年一学級という環境は子どもがかわいそう。高坂、南中がマンモス校になりすぎて子どもがかわいそう。このままで良いという理由がみつからない。今回の手紙の文面は、考えた人の反対という意向が強く出ていて公平ではないと思う。高坂小保護者は当事者であるからこそ感情的になり、反対意見がアンケートの大多数をしめて、あまり意味がないと思う。このような事案は4校のどこにも属さない部外者の意見が一番参考になるのではないと思う。線引きや決定は行政、教育委員会にまかせていいと思う。どうしてもまとまらなければ、校区にこだわらず、学校選択制を何年かとり入れて見てはどうかと思う。（賛成）

・高坂小から南中に行かせたい。今の友達と別れるのは嫌、どうしても通学区域を変更しなければならない場合、自分たちでどちらの学校に行きたいか選択させてほしい。（反対）

・高坂小学区域の児童の増加は一時的なものであるし、高坂小の教室も対応できるようになっている。そして何より、今まで一緒に過ごしてきた友達と小学校だけでなく、中学校まで違ってしまうというのは、子供にとっていいとはとても思えない。桜山小、白山中の児童減少は知っているが、高坂小の子ども達の気持ちを大事に考えて欲しい。仲間と別れるというのは子どもにとって大きな事です。（反対）

・姉兄が通ってきている南中に行くことを、とても楽しみにしている末娘の気持ちを尊重したいから。教室は十分足りるという話も聞いている。実施された無作為アンケートが、あまりにも雑で、的を得ていない。意味もわからず祖父母が書いて送付したという例も聞いている。親ももちろんだが、子供達の中で、どこに通うのか、誰と別れてしまうのか、スポーツは続けられるのか、兄弟で違う学校に通うのか、など不安の声が上がっています。今どういう状況なのか、親を通じてしっかり説明して欲しいと思います。26年度実施というのも初めて知りました。知らない所で話がどんどん進む中、置いてきぼりを食らっている感じです。（反対）

・高坂小の教室不足が無いのなら、学区を変更する必要はないのではないのでしょうか。高坂小の一部と書いてありますが、半分以上になりませんか？区切り方が大ざっぱすぎると思います。桜山小に行ってしまう人数が多すぎるので、見直してほしい。反対意見が多い場合は見直しを中止にして欲しいです。南中で部活を始めて、白山中に移った時の部活はどうなるのか？（白山中にない部活も多いので）中学に入ってから学校変更は友達関係もそうですが、多感な時期、受験などもあるので、控えてほしい気持ちでいっぱいです。（反対）

・より良い方に合わせます。（賛成）

・引っ越して来て、まだあまり地域のことは分かりません。（どちらともいえない）

・4学級（各学年）まで高坂小で受け入れられるなら、桜山をなくして高坂小に入れてもOKではないか。教員の数も減り、その方が市のためになると考える。白山中も桜山小も、南中、高坂小に入れてよいくと考える。（反対）

・南中と白山中の人数があまりにも違いすぎる現状はおかしいと感じるが、どちらがいいかよく分からない。説明会をしてほしいです。（どちらともいえない）

・子供が南中に行きたい。友達と離れたくないと言っています。そういう言葉を聞くと今のままがいいのですが、上の子も南中なので白山中は部活動の数が少ないと聞いています。不安です。26年度に必ず変更が必要なのではないでしょうか。（反対）

・平成26年度～通学区域が変更になると、娘は小学校6年生です。小学6年生となれば就学旅行など、全ての行事が最後ともなる学年です。慣れ親しんだ学校を卒業するからこそ、思い出にもなるし、今後彼女たちが生きていく中で、すばらしい経験となるのだと思います。常識的に考えて6年生で転校が良いか悪いかの判断はつくと思います。せめて26年度からの実施にするなら低学年のみ転校など、もう少し議論すべきだと強く思います。ご検討の程よろしくお願ひします。1人の人間として、父親や母親の立場になって、もう少し議論をしていただきたいです。6年生で転校なんてあんまりじゃありませんか。今までの5年間を捨てるようなものですよ。（反対）

・本部役員の皆様が調べて頂いた様に、高坂小学校の教室が不足にならないのであれば、子供達の為に通学区域見直しは必要ないと思います。むしろ万が一教室不足になってプレハブ校舎になったとしても、入学当時新校舎を作るためプレハブ校舎だった現4年生、プレハブ校舎を経験した現3年生、現5年生現6年生にとっては、プレハブ校舎でも良いから高坂小学校を卒業したいと思う気持ちが強いと思います。上文の反対理由を教育委員会の方々に伝えて頂きたいし、説明会も必ず開催して頂きたいと思います。本部の皆様には、これからも子供たちの最善の形がとれる様、頑張って頂けると有難いです。（反対）

・平成26年度に教室が足りなくなる状況ではないのに、なぜ26年度からとしているのか、又、保護者に対して詳しい説明もなく、保護者の意見も聞いていない状況で、なぜ実施年度を決めてしまっているのか納得がいきません。教育委員会実施の無作為抽出アンケートの集計結果を見ると、回収率が58.3%で、しかも回収したアンケート全体の16%しか小中学生がいる家庭がないというのは、現在小中学生のいる家庭全体の意見を聞いた事にはならないと思います。現在、小中学校に通っている子供がいる家庭全体に意見を聞く事は絶対に必要です。たった2回の審議会で決めることではないと思います。保護者全体に対し、きちんとした説明をし、疑問、質問に答える形の説明会を強く希望します。（反対）

・学校に近くなるのは良いが、親子ともに高坂小→南中に行くつもりでいたから。書面での説明より言葉での説明が欲しい。（どちらともいえない）

・通い慣れた学校、友達が変わるのはかわいそう。体育着、ぼうし等、また買いそろえるのか？あと何年も通わない子たちは無駄ではないか。経済的負担。子供会、学童などの変更は、保護者、児童に負担が大きい。新しい学校に慣れることへの負担。児童によっては精神的負担となる。PTAの意見をしっかり聞いて反映して欲しい。（反対）

・高坂小、南中への生徒の集中は問題があるのではと思います。しかし線路での線引きには？です。すぐ目の前の学校に通えないのはどうなのでしょう。（賛成）

・将来を考え、そうすることで良い方向へむかうのであれば良いと思う。詳細地区不明のまま変更時期のみ決定は納得いかない。きちんと説明して納得後実施して欲しい。（賛成）

・家から一番近い学校に通うのが、一番望ましいと思うから。（賛成）

・今まで代々、高小から南中に通っていたのに急に線引きされて学校が変わるのは子どもたちがかわいそうです。親としても自分が通っていた伝統ある南中に通って欲しいと思います。一部の学年で荒れている桜山小には行かせたいとは思わない。（反対）

・高坂小が将来、児童収容能力を有しているならば変更しなくて良い。しかし、中学校は高坂小→白山中が望ましいです。（どちらともいえない）

・選択制度は東松山市では考えられないのでしょうか。高坂小、南中は児童数が多いので、多数の部活動があり充実しているそうですが、桜山小、白山中は逆に児童が少ないので部活動は数が少なく選択に限りがある。が少人数のため学業については充実していると話を聞きます（現時点）。人数が同数位になるようでしたら同じような環境になり、見直しに対しての細かい意見も出るかと思しますので詳細を提示して頂きたいです。数年後の事だけを考えた学区見直しでしたらこの先高坂小も桜山小と同じ現象が起こるのではないのでしょうか。高坂小だと近い、桜山だと遠くなる。そんなことで学区見直しに反対意見があるようでしたら選択制度を導入したらどうでしょうか。どの学校にも、近い子、遠い子がいるはずですから。学校公開日に夏休みの作品展を行って頂きたい。授業中（帰りのホームルーム中）に親がいるのは子供の気も散りますし、多勢の方に見て頂いた方がやり



<p>甲斐にも繋がるのではないのでしょうか。(どちらともいえない)</p> <p>・私自身も高坂小、南中出身です。私が在学していた頃は、以前の校舎に今の倍近い児童生徒がいました。今後、児童、生徒数が増えたとしても、それは一時的なものではないのかと思います。現に桜山小白山中は児童数が減少との事。線路で学区を分けたりしたら、ピークが終わった時、今度は高坂小が衰退してしまうのではないのでしょうか？会長さんはもっとしっかりして下さい。もっと早くこういうアンケートなり、現在の状況を知らせなければならなかったのではないですか？ほとんどの方がこんな事になっていると知らなかったと思いますよ。こういう大事な問題はもっと早くPTA会員の意見を聞くべきなのではないですか？(反対)</p> <p>・実際、我が家からは白山中の方が近いので、考えても良いと思った。</p> <p>学校への通学時間はもちろん通学路の安全面なども十分に考慮して欲しい。(賛成)</p> <p>・教室不足になってしまう現状を考えると、通学区域の変更は仕方ないと思いますが、子供の友達関係を考えるとどちらともいえない。(どちらともいえない)</p> <p>・子供の数的に、距離的にいいと思います。(賛成)</p> <p>・子供の数は、しばらくは増えることは、東口開発を計画した時点で分かっていたことで、高坂小建替も、この数に対応した大きさにもかかわらず、区切る理由はないはずである。少ない学校を増やす必要性も理解できない。緑山小を閉校したように、桜山小も閉校して、高坂小と1つにする方が現実的ではないだろうか？高坂小のピーク後は、今の桜山小と変わらなくなった場合は、どうするつもりか。そこまで考えた結果なのか、説明してもらわないといけないと思う。教育委員会は、子供や親の意見を聞く必要があると思います。たった2年で納得できる内容ではありません。新しく引っ越してきた人たちは、子供の学区を含めて家を建てています。そのことを含めて抗議してください。お願いします。(反対)</p> <p>・教室不足になるのなら、仕方がないけれど、仲良くなったお友達と離れてしまうのは、親としても残念なので、できるなら変更して欲しくないです。(どちらともいえない)</p> <p>・ちょうど長男が中学へ行く年なので、タイミングが良い様な気もしますが、部活動の事や、白山中側の受け入れ体制など気になる事が何一つ伝わっていないのが不安ですし、詳しい説明もなく、賛成、反対と言える問題ではないと思います。色々大変だとは思いますが、これからも積極的な対応をお願い致します。教育委員会へは、26年度実施は決定していて、ただそれまでの対処、おさなりの対応だとしたら、もし、その様な事が感じられたら、考え直していただきたいと思います。(どちらともいえない)</p> <p>・仮に通学区域が変更になったとして、学年の中で数人のみが白山中に行くとなると、それまでの交友関係が崩れ、また一から作らなくてはいけないのでは…。母親自身その状況でしたが、やはり他の小学校の人たちのグループができあがっている中に入って行くのは大変だった思い出があります。どうしても変更しなきゃいけないのであれば、その点の配慮が欲しいと思います。(どちらともいえない)</p> <p>・市や教育委員会からの説明が無く、アンケートの結果だけで通学区域変更を決定するのは、納得いかないとします。市や教育委員会の説明会を要請していただきたい事と、該当される地区の詳細を知りたいです。(反対)</p> <p>・変更の状態にもよると思います。(どちらともいえない)</p> <p>・今のままがいいから。学区見直し反対です。(反対)</p> <p>・祖父の代から高小、南中と通っていたので息子もそうさせたい。桜山小、白山中の校舎は古く設備等の問題。(新しく建て替えるのですか？)息子の友人関係(仲の良い友達や幼なじみのこと別れてしまう可能性がある)通学区域変更は反対です！やめて下さい。(反対)</p> <p>・既に入学しているので来年から他の学校へ行くのは、子供、親も難しい。新一年生からで、上に兄弟がいなければ考えると思う。アンケートは通学区域に入るであろう地区の人がするべきだと思います。(どちらともいえない)</p> <p>・高坂小学区域の児童の増加は一時的なものであるし、高坂小の教室も対応できるようになっている。そして何より、今まで一緒に過ごしてきた友達と小学校だけでなく、中学校まで違ってしまうというのは、子供にとっていいとはとても思えない。桜山小、白山中の児童減少は知っているが、高坂小の子ども達の気持ちを大事に考えて欲しい。仲間と別れるというのは子どもにとって大きな事です。(反対)</p>
--

<p>・2年後に学校が変わると、上の子供が中2でかわる事になりますが、中学校に慣れた頃また、新しい学校になると、受験の前なのに、環境が変わり、子供達も精神的に大変だと思います。スポーツ少年団の方も途中でかわる事になるなら、ユニホームなどの事もあるので、反対します。学校が変わる人は、環境が変わり大変です。子供達も途中で変わる事は嫌だと言っている事を、教育委員会は伝えてほしいです。(反対)</p> <p>・児童の増加は一時的であるのと、教育委員会からの説明会もなく、現時点でも通学区域見直し対象の詳細地区が不明のまま、変更時期だけが決まっていることに不満があるため。すぐにでも説明会の開催をしてほしいのと、もし通学区域見直しが決まって嫌だといった場合、子供たちの意向を尊重することが出来るのかどうか。(反対)</p> <p>・子どもたちの大事な環境が変わる問題なのに、一度のアンケート結果で通学区域変更を決定するのは、あまりにも急ぎ過ぎであり、線引きされるであろう地区の保護者としては、全く納得できません。時間をかけて様々な検討をしていくべきだと思います。子供達、保護者、地域のことを良く考えて、時間をかけて検討して頂きたい。(反対)</p> <p>・通学区域見直し対象の地区(地域)が不明のため。(どちらともいえない)</p> <p>・昔から住んでいる人達が急に学区が変わって、新しく高坂地区に住み始めた人達が高坂小に居続けられるのはハッキリ言って許せない。(反対)</p> <p>・該当する子供がいない為。(どちらともいえない)</p> <p>・新しい学校に変わらなければならないのは子供や親にとって精神的にとっても大きな負担になります。新しい環境に馴染めなく登校拒否やいじめの問題にもなりかねません。教育委員会の方に来て頂き、保護者と直接意見交換をする場を設けて頂きたい。アンケート集計結果も回収率57%と低く、また卒業生、子供無し等、直接関係無い方々が70%を占めており、意見が反映されているとは思えません。(反対)</p> <p>・入学してせっかくできた友達と別れてしまうのはかわいそうだし、教室数などなんとかなるのなら、変更する必要はないと思います。学童の定員を増やして欲しいです。できれば6年生まで預かってもらえるようにしてもらいたいです。(反対)</p> <p>・通学区域の見直しは必要だと思います。しかし、子供の希望もあると思うので、途中で小学校が変わる事への不安はあります。なるべく子供の気持ちを優先してあげたいのですが…。(反対)</p> <p>・区画整理され、人数もふえているので、学区が変更になっても良いと思う。(賛成)</p> <p>・とくに賛成、反対はありません。子供達が安全に楽しく、勉強、部活に励む環境であれば、特にありません。(どちらともいえない)</p> <p>・子供は小学校が変わることについて嫌がっているが、いずれ高坂小の教室が足りなくなるのなら、変更になっても仕方ないことだと思う。教室不足が起これないとしても、桜山小と白山中の小規模化が進んでいるなら区域を変更して調整してもいいと思う。桜山小の父兄の立場なら、自分は校区変更してほしいと思うと考える。区域変更する場合の線引きについては、通学距離や安全面を考慮して決めてほしいと思います。(賛成)</p> <p>・今までの友だちとわかれる事と、急に学区が変わる事には絶対に反対です。前から高坂小学校の人数が増える事がわかっていたのであれば、小学校を新しく作る前にも人数の把握ができていたはずなので、設計ミスだと思う。それは教育委員会が悪いと思う。勝手な事をしないでほしい。何故4校だけの問題なのか？急な見直しは反対です。教育委員会の人たちが4校の意見もまともに聞かないで、勝手な動きばかりするのはすごくおかしいと思う。住民の声をきいてから、行動してほしい。(反対)</p> <p>・保護者に何の説明もないまま、変更時期が決まっているのがおかしい。通学路の安全性、通学距離についても心配がある。桜山小は古い建物で、これから改築をするとしても、またプレハブで学校生活を送るのか。高坂小の教室数が足りないというのは、改築前に考える事で、できてから言うのはおかしい。無作為アンケートなど、外側から埋めていくやり方は時間稼ぎでしかない。2年後を考えるなら、きちっとした計画を出してから、噂話ではなく知りたい。校区変更は高坂地区の活動にも大きな影響を与えるので、簡単に考えないで欲しい。(反対)</p>
--

<p>・通学区域がどのように変更になるのか知らない。5年、3年、年中の子供がいますが、みんな同じ学校に通ってもらわないと教育上困る。現在の自宅から1番近い小学校、中学校が通学区域なので、もし遠くなるようなら困る。通学区域がもし変更になったら、経済的、精神的に親子とも負担が大きい。急な変更は、子どもの心のショックも大きく、変更する場合はもっと慎重になってもらいたい。決定してから最低でも5年以上は必要だと思う。(反対)</p>
<p>・高坂小学校の教室が不足でないとすると、区域見直しは全く必要ない。安易な校区見直し案はやめてほしい。一時的な生徒増にはプレハブ校舎で対応すべきで、安易に変更すべきではないと思う。 教育長の発言に対して、このような簡単なやり方で進められている事に憤りを感じます。26年度からの実施ありきで、アンケートだけで進めて良い問題ではないと思います。(反対)</p>
<p>・高坂小学校の将来の教室不足には根拠が乏しいこと。説明が不十分で理解しがたい。 通学区域見直しの件について、動きがあれば分かりやすく説明と連絡をしてほしい。教育委員会へは勝手に話を進めていかなくて、きちんと説明をしてほしい。(反対)</p>
<p>・子供が入学して通学しているので、途中で変更することが、子供にとって環境を変えることになり、すこやかな学校生活を継続することが困難になるから。決定事項を通知するのではなく、協議する場に関係者を参加させることが必要。(反対)</p>
<p>・新1年生のみ変更になるのは賛成だけど、すでに在学中の子供達に関しては、希望者のみ通学区域を変更する等、配慮した方がいいと思います。友達関係とか子供達にしかわからない関係もあるだろうから、心の負担になるような、一方的な強制はやめて頂きたい。(どちらともいえない)</p>
<p>・途中から小学校が変わってしまうと、子供達にとっても親御さんにとっても色々大変になってしまうと思う。何故、高坂小を新築にするにあたって校舎をもっと大きく(クラスや人数が増える事は分かっているはずなのに)建設しなかったのかと思います。お友達と離れてしまい、中学校においてはクラブ活動の数が少ないのは、思うからです。話し合いの場や詳しいことを保護者に伝えていって欲しいと思います。あとは子供たちの意見等も聞いてみたりするのも良いのではないのでしょうか。(反対)</p>
<p>・今まで通っていた学校が変わると言う事は、子供にとっては、とても悲しいようで(友達と別れてしまう為)我が子は泣きました。子供の多い少ないは実際に通っている子供には関係ない事で、バランスの為の大人の都合でしかないように思えます。とは言え、教室不足は現実起こることなので…。例えば、今、通っている生徒は卒業まで同じ学校に通い(小学校卒業後)白山中学に通うというのはいかがでしょうか？ (反対)</p>
<p>・勉強や運動をしてきた仲間と、人口増加で教室が不足するという理由で強制的に引き裂かれるのは、いじめや登校拒否など悪影響があると思おう。子供もとても困惑しているので、絶対に反対です。教育委員会が区域の変更を実行するのであれば、26年度と決めず、まずは通学路の環境整備、耐震が心配な校舎の建て替えを要請してほしいと思います。(反対)</p>
<p>・小学校という新しい環境に慣れ、親子共に新しい人間関係を築いた所で、転校…。お金では買えない大切なものを失いたくありません。何よりも、子供のいる家庭の声を一番大切にしてほしいと願います。(反対)</p>
<p>・高坂地区から変わる事により自治会活動の連携も取りづらくなると思う。今は子供の数が増えても、また一定期間が過ぎれば減るので、その際また変える様になり振り回されてしまう。(反対)</p>
<p>・2年後ですと1年だけ南中に行き、その後白山中と途中で学校が変わることになってしまうので、どうせ変わるなら、1年生からのほうが良いと思う。中学校は3年間しかないのだから。(反対)</p>
<p>・児童の増加は一時的なことであるが、その状況に対応した考えが必要だと思います。「学童の件」来年学童を希望しても入れないのに怒りを感じます。昔と違って社会情勢、家庭環境も変わっています。一人で留守番をしている子供の性犯罪も増えています。子供の増加は前もって予想できているはず…。保護者の意見をきちんと聞いて対応して欲しいです。(賛成)</p>
<p>・バランスが良くなると思うから。(賛成)</p>

<p>・桜山小、白山中へ通学区域が変更になると登下校の時間がかかり、人通りの少ない道(田んぼ道)を通り安心安全性に欠ける為。学用品を新しく全部購入する事になる為。早期の説明会開催を希望します。(反対)</p>
<p>・一年間だけ桜山小に行くのはどうかと思います。せめて初年度は5年生からにして欲しい。2年後の変更になるので、5年生以下の対象者でアンケートを実施すべきだ。その回答、意見、要望がどうかを聞きたい(反対)</p>
<p>・きちんとした説明もないまま、話が進むことに納得ができない。皆が納得できる様、説明をしてもらいたい。反対の声が多く、なぜ今変更するのか？本当に必要な事なのか？疑問だらけです。早急に説明会を開いてもらいたい。皆の声を聞いて欲しいです。(反対)</p>
<p>・現在4年生、高坂小を卒業させてやりたい。最後の6年の時に強制的に学校を変えられるのは納得できません。現在高坂小に通学中の子供のいる家庭(区域変更対象となる予定の)や、近々入学予定の家庭の意見がほとんど無視されてしまっている様におもいます。26年度から…ということは、もう1年半しかないということ。あまりにも急すぎでは？もう少し時間をかけて段階的にお願いしてほしい。安全面(通学路などの)も心配。通い慣れた高坂小から去るなんて子供達がかわいそうです。(反対)</p>
<p>・変更は必要だとは思いますが、市内の学校の少子化も進んでいると聞きました。高坂地区だけでなく、市内全体で見直しをすることを望みます。(どちらともいえない)</p>
<p>・遠くなるので。(反対)</p>
<p>・同じ場所に住んでいるのに、兄弟が同じ学校を卒業出来ないなんて考えられない。ケンカにもつながるし良くない。いじめ等色々な問題がある中で環境を変えたくない。友達と離れるし先生も変わりメリットは見つけれない。親も子も慣れた学校から、一から出直したと心労が重なる。とにかく反対です。情報が入らないので良く分からない中で、子供達は「誰々が転校するんだよ」なんて言っているらしく環境的にも良くないと思います。教育委員会に電話質問した所「何も決まっています」と言っていますが、結果ありきで決まってしまうのは困ります。選択肢が欲しいと思います。(反対)</p>
<p>・兄弟で同じ小、中学校へ通わせたい。(中学の制服など着まわしができる為)高坂小での友達関係の土台ができたのに、また新たに新しい環境に馴染めるか心配。希望制にしたらどうですか？(反対)</p>
<p>・詳しい説明もなく、実施の日にちだけが決まるのはおかしいと思います。高坂小の人数が増えるのは一時的なことだと思います。急ぐ必要はないと思います。(反対)</p>
<p>・兄も高坂小卒業、そして今は南中ですが、制服や体育着など兄の分をそのまま使いたいです。(反対)</p>
<p>・小学校が遠くなる。体操着、上履き等費用がかかる。途中から学校が変わる事による友達関係の変化。地域的に親同士交わらず、それが子供に浸透しイジメへ発展するのではと心配。こんな急激に校区変更をするより教育委員会として他にやる事があるのではないかと思うから。線引きを東西で分けると新しく来た人達が南中になる、それは納得出来ない。部活動の選択の幅がこれ以上せばまるのは困る。校区見直し案の撤廃を要求します。PTAとして高坂小があふれることのない現況を教育委員会へ話し無茶な校区見直しによるたくさんの犠牲を出さない様にして下さい。どうしても変えざるを得ないのであれば、上の子が南中を卒業した家庭に関しては選択制にして欲しい(制服、その他用品が揃っている)。(反対)</p>
<p>・南中にくらべて白山中はクラブ数が少ない為に好きなクラブに入れない。白山中は、クラス数が少ない為に、入れ替えがないので、いじめなどが多発する。人数が増えるのは一時的なので、見直しの必要はないと思います。(反対)</p>
<p>・変更についての方法や内容の説明がきちんとないまま、2年後の実施は早すぎる。現在通学している子供の学校が途中で変更になるのは子供にとって良い影響を与えないと思います。(反対)</p>
<p>・親としては、桜山小の耐震性などが心配。特に高学年の子供達にとっては友人と急に離されることに対して配慮がなくてはいけないのではと思います。プリントの説明にも書かれていましたが、もし変更になるのなら、今の時点でもうすでに、どこの家庭が通学区域が変更対象なるかはっきりさせていただきたいと思います。その上で話し合いをすべきなのではと感じました。7月に行われた先のアンケートに関しても、そこが明確でない状態で意見を募っても意味があまりないのでは。(どちらともいえない)</p>



・通学区域の詳細がないまま、賛成はありえない。変更がなぜ26年度としているのかもわからない。無作為抽出アンケートも、関心がない家庭の回答に意味があるのだろうか？通学区域見直しは必要ないです。(反対)

・説明がないまま2年後というのはおかしいのでは？10年後20年後のことを考えているのか？今がよければいいとしか思えない。子供の事を本当に思うなら長期的に見て、校区の変更を行うべきだと思います。高坂小、桜山小の問題ではなく、近隣の小学校を加えて検討したほうが良いと思います。説明会を実施してほしいです。噂ばかりで確かな情報がない。校区変子が決定してからの説明では納得いかない。(反対)

・それはもちろん子どもが嫌がっているからです。小学校入学の頃から変更がわかっているなら納得しますが…、話が急展開しすぎです。線路の東と西に分けるというのも無理があると思います。(反対)

・遠くなる。(1年生が通える距離ではない) 安全対策(旗振り当番等親の負担が増えてくる為) 悪戸など南中に近い人達が、遠い白山中に通わなくてはいけないなんて変ではないのか。不足分はプレハブ校舎対応。野本小に近い地域を野本小に行かせる方が、距離が近いのでは？(反対)

・具体的な説明を聞く機会が少なすぎる為。(どちらともいえない)

・線路でもしも分けた場合、高坂小のメインはリファージュや高坂小周辺の住民となるが、今は住民が増える時期であるが数年後には、高坂NTと同様、子供は少なくなるであろうと考えられる。そうした場合、数年後に高坂小が今の桜山小のように少子化になってしまうと思う。そのたびにこのような事をしていたらキリがない。(反対)

・通学路が遠くなり、道を考えてもどのルートで行っても危険だと思います。桜山小学校は学年によっては大変な状況だと聞きました。現状は分かりませんが…。学校の状態を考えても一緒になることは反対です。教育委員会が、すでに概ね決めてしまっていると耳にしました。PTAの意見も聞き入れてもらえるのか疑問ですが、実際に通学している児童のことを考えてすすめていってもらえればと思います。(反対)

・年子なので同じ学校にしていただければ良いと思っています。(どちらともいえない)

・友人関係や地域との関係。(反対)

・ほぼ確実に変更するに対してアンケートすること事態おかしい。反対すれば区域は変わらないのですか。(どちらともいえない)

・区域変更による友人や地域との関係の問題。学区の変更には賛成できません。(反対)

・突然実施した無作為アンケートの結果を集計し、それを参考に学区が変更されるのはいかがなものかと思えます。まず学校での説明会があり、保護者全体の意見を求めるべきではないでしょうか。学区の線引きについても出ている案では、東側から南中に通うのに白山中の学区を通して通学する様になるのはどう考えてもおかしいと思います。万が一、予定通りに学区変更が行われるとして、東西で学区をわけたとしても、南中に近い家庭は選択できることや、例えば実施年度に6年生は残りの1年間今まで一緒に過ごした友達と卒業させてもらえないかなどの、特例は作ってもらえるのか、どの程度、要望が通るのかしりたい。(反対)

・どの区域が変更になるのかがハッキリわからないので、なんともいえません。南中はすごく近いです。でも駅の東西で分けた場合、白山中になるんですね？その辺も未定すぎて何ともいえません。(どちらともいえない)

・小規模化の対応にもなるけど、児童の増加は一時的でありそうだし、通学路が変わるとまた安全面で心配。今の学校に通わせたいとも思う。(どちらともいえない)

・今後予想される児童数増加、及び桜山小、白山中の児童数減少により学習面等の様々な問題が出てくると思うので、少しでもより良い学校生活をおくれるよう環境を整えた方が良くと思うから。(賛成)

・学校だけの問題ではなく、自治会、子供会なども不都合が起こる為。中学校においては、制服など二重にそろえなければならない。又、保存している兄弟の制服など使えなくなる物がでてくる。(反対)

・通学区域変更の事も噂でしか知らない。説明会もないような区域変更には賛成も反対もできない。当事者(小学生)を持つ家庭へ教育委員会の今後の考えを教えてほしい。区域変更がない場合、どうなるのか。教育委員会へは、まずどの様なビジョンで学区を変更する話が進んでいるのか、全体へ報告できないのなら、関係する4校

のPTAに報告してほしい。実際に通学する子供を持つ家庭に対し無作為アンケートするなど、アンケートの既成事実を作るだけのようなアンケートは意味がないし、不安をつのらせるだけです。高坂小の区域変更に対し、全面的反対している訳ではありませんが、市の計画を知りたい。南中の中でも東中を通ったほうが近い区域もあると聞いています。そちらの見直しは、ないのですか？(どちらともいえない)

・もっと検討してほしい。長期的に見て、更に変更等ないのか、よく検討してほしい。(反対)

・ピオニウオーク付近の住宅が増え、子どもも増えるという考えは根拠がないし、もし仮にあったとしても一時的なものとするのか意図がわからないから。高坂ニュータウンの少子化は止めることができないなら廃校という考えだってあるから。高坂小にやっとなれてきて、実施される時期は3~4年生と、とても大事な時期になるため、友人関係、勉強と心配されることがたくさんあるから。今回の件に関しては本当に反対です。教育委員会があまりに横暴で安易に考えているとしか思えません。なぜ近くの学校へ通えず、古く遠い学校へ通わなければならないのか。子どもの個々の問題にまったく目を向けていない点、腹立たしいです。署名活動などありましたら、できる限り参加したいと考えていますのでよろしくお願い致します。(反対)

・地元民の多い高坂小学区が分断の対象となるのはおかしいです。古くからこの土地に住み地域を大切にしているひとの生活を優先してもいいのではないのでしょうか。親子3代にわたって高坂小南中のなじみもあると思えます。せめて途中から学校が変わるようなこと、兄弟で分かれてしまうことはやめてほしいです。PTA本部へは、通学区域見直しについて現状のままの姿勢で行動してほしい。教育委員会には、やむを得ない事情もあると思えますが、不明確なところが多いので、きちんと説明してほしいです。(反対)

・一部案として変更区域に該当すると言われている子供達、親御さんの意見を反映したものと思えない為。子供達の声を尊重してあげて欲しい。具体案が見えない。例えば変更となる地域はどこからなのか、噂だけで中身がよく分からない。納得できるエビデンスは、数値的なこと等を、皆さんが分かりやすいよう、可視化して欲しい。(反対)

・在学中での変更になる為、子供の意見も聞くべき。通うのは親ではなく子供たちだから。もし変更しなくてはならないのなら、26年度の新一年生に当たる児童からにするなど。又、線路での線引きには反対です。今まで高坂小に近かった家が、線路西側にある為に、倍以上かかる桜山小に行くことになってしまう為。もう少し考えた方が良くいかと思います。(反対)

・友達関係(反対)

・高学年の子供までバツサリと分けたいのか。せめて4, 5, 6年生は選択制にして中学から学区分けする。中学生は入学時から学区分けにし、その前に通っていた中学生はそのまま卒業まで旧通学区にする。等々選択できないのか。(反対)

・見直しの理由が明確でなく分かりづらい。十分な説明もなく、水面下で話が進んでいることに納得がいかない。十分な説明会を納得いくまで行うべき。何年後を見込んだ今回の見直しなのか。いつから検討されていたのか。今後、逆のこと(高坂が減少、桜山が増加)が起こった時は、また同じ事をするのか。26年度実施という話は白紙にして、十分地域の声を聞いた上で方向性を考えてほしい。正直、何が起きているのかわからないというところです。(反対)

・この無作為アンケートは桜山小、白山中の対応がメインで高坂小に対しての配慮がまったくないと思えます。子供はお友達と離れ離れになることをとても不安がっています。親としても、教育委員会はアンケートを参考にしていますが、直接影響がある全ての児童の家庭の意見が反映されていないデータを参考にされては、到底納得できません。教育委員会への要望 無作為アンケートの結果を参考とありますが、何故平成26年度からの実施なのでしょうか？生活環境が変わるという事は、子供達にとって大きな負担になります。高坂小に通っている保護者の意見を聞く場をぜひ設けて下さい。(反対)

・今でさえ通学距離が長いのに学校を変更されたら、もっと通学距離が長くなる為。(反対)

・具体案を見てからでないと何とも言えない。(目的はよく理解できますが) 具体的な情報を、その度公開してほしい。該当になってから本当に考え(本根)が出てくるのではないかと思うので。(どちらともいえない)

・2回の審議会のみで決められるとは思えない。今回この資料を目に出来て良かった(特に教育委員会のもの)です。が、このアンケートの内容(意味)も分かりません。ただ、反対が何人、教育委員会のアンケートに不満を持つ人が何人かだけ知りたかったかのようにみえる。(反対)

・今回のことで子供達も噂を聞いて、とても不安に思っている。今まで当たり前に行っていた生活が変化してしまうことは、子供にとって予想以上に大きな問題であると感じる。簡単に見直しと言うが、私達、子供達は物ではなく感想のある人間である。その部分に対して市としては配慮不足であると強く感じている。今回のお知らせにあるように、今後も十分、高小で教室が足りると言うのであれば、無用な学区見直しは、行わないように強く要請して欲しい。住民感情をここまで無視した施策が行われるのは納税者として我慢ならない。見直しありきの話し合いは撤回して欲しい。大変かと思いますが宜しくお願いします。必要があれば署名などもさせていただきます。(反対)

・在学中の変更(南中→白山中)があるのですか。あるのであれば絶対反対です。制服の問題もあるし、一年間部活をやってきた意味がなくなります。(反対)

・交友関係に影響がでる。学校が変わる事で経済的負担がかかる。(反対)

※回答は原文のまま掲載しておりますが、個人を特定できる箇所は一部修正・削除しております。また、私たちPTA本部に労いや励ましのお言葉も多数いただきました。ありがとうございました。紙面の都合上そちらも割愛させていただきました。ご了承ください。

# 「高坂小通学区見直し説明会」議事録

## (要約)

場所： 高坂小 体育館  
19時～21時30分

司会： 齋藤幹事

- 参加者 ・ 教育委員会 中村教育長、教育部賛田部長、教育部久保田次長  
関口学校教育課長、祐川主査
- ・ 高坂地区 区長
  - ・ 高坂小 PTA本部
  - ・ 高坂小 保護者
  - ・ 高坂小 吉野校長、小久保教頭、石井教務主任

### ○教育委員会からの説明

### ○質疑応答

- 1) PTA代表 (本部役員)
- 2) 一般保護者

(今回の会議の開催趣旨について)

東松山市立高坂小学校・桜山小学校及び南中学校・白山中学校の通学区の見直しについて、現在、教育委員会で検討をしているが、今回の教育委員会の見直し案では、高坂小学校に通学する児童への影響が一番大きい。

しかしながら、5月10日のアンケートに示されたその見直しのスケジュールを踏まえると、高坂小学校に在籍する児童を持つ、父兄には十分な説明、意見徴収等が行われていない。

このため、今回、教育委員会から今回の件について、ご説明いただく機会を設けたものである。

教育委員会からの出席者は、中村教育長、教育部賛田部長、教育部久保田次長、関口学校教育課長、祐川主査の5名。

中村教育長より

経緯

教育長になり、3年目になる。就任1年目の時に、通学区見直しの課題があると聞いた。その時は、白山中の小規模化への対応の検討という事だった。今年度は白山中1クラス→検討課題。桜山小・白山中は小規模校としての良さがある。少しずつ生徒数が増えてきたので、このままでいいのでは?となったが、平成23年度に高坂東口の土地区画整理事業地区が本格的に始まり、児童数が予想以上に増えてきた。

現在、高小は22教室まで使用可能なので、H29年にはいっぱいになってしまう。今後さらに人口増が予想される為、近い将来教室が足らなくなることが想定される。

来年度、1年生になる6歳児は75人。これは現在の人数のため、これから増えていく。

また、少人数指導で授業をするには、教室数が足らなくなる。

白山中は、現在1クラスであり、せめてクラス替えをできるようにしたい(白山中・桜山小のPTA意見)実際に、教室も余っている。将来、高坂小児童数が増えると予想されるので早い段階で準備を進めていこうということになった。

昨年度は、高坂地区、丘陵地区の各自治会との話し合い、各PTAとも話し合いを持った。その意見を踏まえて、高坂300、桜山300の無作為アンケートを実施した。また、各小学校の先生にもアンケートを実施した。

今後の予定としては、

10/24 第1回審議会開催

メンバーは、17名。1号委員～5号委員までいる。市内校長会長をはじめ、関係通学区小・中学校長、関係通学区PTA会長、地域の方々、知識経験を有する者。

11月頃、審議会第2回開催

諮問し、答申を出し、最終的には、教育委員会の会議(審議会)で決定となる。

高坂小PTAのアンケート実施をみて、区域の見直しが2年後になることについて。などがあつたが、去年の話し合いで来年すぐに変えるのか。という意見をもらい、すぐではなく、みなさんに説明しなければならぬので、早くてもH26年度と申しあげただけで、H26年度からというのは、決定ではない。

意見聞かないので勝手に進んでいると思われているが、まだ何も決まっていない。

線路で分けるのは不満というのも、まだ何も決まっていない。去年、質問を受けたので、例えばそういう案もある。と申し上げた。重ねて言うが、決定ではなく、全て審議会で話して決めていく。

## PTA本部役員からの質問

- 官永顧問 5/10に送られたアンケートについて、子ども達の事を考えての見直しのはずだが、誰のためのアンケートか。学校に通っている世帯に送るのが本当の意味で参考になるのではないか？
- 教育長 通っている子どもだけではなく、卒業生やこれから入学する子ども、地域の方々の学校でもある。いろんな思いがあるので、そういうことで、無作為にした。桜山と緑山の時にも、同じ無作為という形でした。
- 官永顧問 中には、関係ないということで、アンケートは答えられないという方や、内容がよくわからないがために、アンケートにある文言の「プレハブ」では可哀そうではということで、賛成をしたところもある。話し合い（PTAとの）中で出た「プレハブ」という言葉は、プレハブを建ててほしいという事ではなく、例えば話としてでたものである。現状維持の混乱を招くことになったと思われる。それについては、どうか？
- 教育長 教室が足らなくなっていく状況にあるなか、質問事項で、「現状のままでいい」という内容があり、それならば、それに代わる何かということで、話し合いの中で「プレハブ」という話が出たので、それも一つの選択肢として、入れさせていただいた。
- 官永顧問 検討スケジュールについて2～3回という話があったが、その程度の会議で審議会において、十分な話し合いが出来るのか。結論ありきの論議がなされることが懸念される。多くの意見がまだあるので、もっと審議を重ねてもらいたい。
- 教育長 桜山・緑山の時も、2回だったので、今回もそうした。まとまらなければ、またそれ以上のことは考えていく。エンドレスにならないように、最終的には審議会で。
- 官永顧問 H16年度桜山・緑山の統合時の無作為アンケートを参考にしたと聞いている。当時丘陵地区の世帯数が1897世帯。無作為アンケート実施世帯が1000世帯。配布率が、52.7%。今回の配布率は高坂地区6.5%。丘陵地区14.6%と高坂地区が極めて少ない。幅広く、公平と言えるのか。
- 教育長 アンケートの調査は、多く取れば取るほどいいかもしれないが、経費や集計の大変なところもあり、統計上では600は妥当な数値と認識している。世帯数が違うから300・300は不公平という考え方もあるが、同じ300に揃えるのが公平という意見もあり、そうした。

小川会長 先生方のアンケート内容のなかに、小規模校、大規模校の指導上の問題があるというものが入っていたが、これは先生方側の意見であって、子どもの割り振りや地域の問題とは関係がないのではないか。先生方に対しては、全員にアンケートをしている。先生方は、転勤もあるので、あまり意味がないのでは。審議会用の資料として提供できるものなのか。

教育長 桜山・緑山の時も同じやり方をしている。人事異動はあるが、今いる先生に現状を聞くことは、子どもが増えていくことによって、どんな問題が発生するかなどの意見も聞くことが出来るので、大切である。一般の人にはわからない部分がある。

少人数授業で、きめ細かい指導（算数）を市内ではほとんどの学校がやっている。そのため、先生が余計に配置されている。少人数での指導をするためには、ある程度の教室の確保が必要である。

先生の意見にも教室が足りない。という意見があった。教える側の意見も一つの資料として参考になると考える。

小川会長 通学区域の線引きから検討をして、2～3回の審議会で校区見直しができると思われませんか。概略として、審議会でどのような事項を検討し、決定されるのか。教えてほしい。

教育長 審議会では、現状、今後の見通しをみて、アンケートをみて、見直しを実際するのか、しないのかを決める。

するのであれば、どういうことを見直すのか。

しないのであれば、高坂小の増えていく子どもたちをどうするか。

議論を重ね、意見を集約して、教育委員会に返す。

変えるのであれば、いつから変えるのか。配慮事項はどうするのか。猶予（初年度は保護者の意見を尊重するなど・・・）の検討。

小川会長 何故高坂小・桜山小に限定しての検討事項なのか。南中・白山校区の検討事項ならば、野本小についても含めるべき。野本小は施設の耐震強化の済み、教室の空きもあると聞いている。通学路についても歩道がきちんと整備されているので、問題はないと思われませんか。

また、校区について大きく考えるのであれば、市全体の検討事項なのではないか。

教育長 市全体でということだが、教育委員会としては、今、近々の課題は子どもが増える高坂地区であるため、まず今は高坂地区。そして子どもの数が減る桜山・白山に対しての課題である。他の地区でも、要望があれば考えていくことである。

小川会長 先ほどの教育長の発言のなかで、グレーゾーン（その地域の人はこちらに行っている）も致し方ないと思われる発言があったが、そう思っているのでしょうか。

教育長 グレーゾーンの認識としては、ずっとどちらに行ってもいいという事ではない。通学区域見直しのときは、一気に変える。または、変えるが、初めの1年は保護者の意向を汲む等の配慮事項を設けるという捉え方。

新1年生から変えるというのは、効果はない。これから、どんどん多くなるから。

冬木副会長 9月の定例会の際に、校区見直しの理由の一つとして教室の数が不足するため、少人数指導はできないとの発言があったようですが、現在の高坂小教室数でも児童数がピーク時でも教室が不足することはないと思われますし、少人数指導ができなくなるということはないと思われます。

教室数は、最大24教室、1学年140名、全校生徒数840名まで対応可能である。教育委員会の試算した平成30年度児童636名22教室の対応は可能と思われます

教育長 3階のテラスを工事すれば、24教室になるが、今現在は22教室である。(最大)理論上は、1クラス40名であれば可能だが、児童数が41、42人になると、2クラスにしなければならない。実際は厳しいものがあると考えられる。

冬木副会長 高坂小新設にあたって耐震の問題もあったと思いますが、児童数の増加を考慮した上で建て替えではなかったのか。増築の出来る建物であれば、教室を増やせばいいのでは？

教育長 それも一つの選択肢ではあるが、財政上、厳しいものがある。現状桜山小では教室が余っているのです。そういった点も議論していくことになるだろう。

冬木副会長 少人数指導がしづらいというだけの理由で、今まで一緒に学んできた友達と無理矢理引き離される方が、子供たちにとっては嫌なこと。学習で成果が上がる前に人間不信になる。(少人数はよいことだと思いますが、現時点東松山市では一定の成果が出ていない。)

教育長 今までも、青鳥小や東中など作られてきた。気持ちはわかるが、未来永こう一度決められた通学区は変えられないのか。それは無理なこと。

H26年度というのは、早くても。という話で、例えばの話。きちんと話し合いを持ち、決めていくこと。決定ではない。

宮永顧問 生徒が41になると2クラスになるという話だが、H24年度の推移では、1年95名(3クラス)、2年90名(3クラス)、3年59名(2クラス)、4年65名(2クラス)、5年75名(2クラス)、6年76名(2クラス)と満たしてはいない。

教育長 現状はそうですね。

佐藤副会長 私は、高坂校区の全地区理事の方々と、美化、運営、広報といった専門部の方々との取りまとめを担当させていただいています。立場上、高坂小に通う児童数が地区別で何人いるかということも把握しております。先ほどのお話ですと、校区を東西に分けるということは、決定事項ではないということですが、私たち保護者には東西に分けるという話が広まり、不安を感じております。そのこと受けまして、仮に2年後の26年度に線路の東西で分かれてしまった場合、高坂小と桜山小の児童数はどのように推移するのか調べてまいりました。

(推移表を見て) このように仮に2年後に校区が変更になりますと、現3、4年生が5、6年生となった時、学級数は桜山小より高坂小の方が減少してしまうという事態になるのです。こうなると、校区変更を行う意味がないのではないのでしょうか。先ほど決定事項ではないということでしたので、そのことも踏まえて何回も審議を重ねて頂きたい。

教育長 26年度に線路の東と西に分けるというのは、決定事項ではない。

佐藤副会長 たった2～3回の審議会で結論を急ぐことのないよう、子供たちにとって何が最善かを多方面で議論し、時間をかけて審議していただきますようお願い致します。それと高坂小に通う児童生徒はそれぞれ自治会の子供会に属しており、線路をまたぐ高一、高二、高三、高四地区は、子供会の分裂により、親子共々近所のコミュニティーから分離させられてしまいます。このようなことがないように、十分考慮したうえで検討して頂きたい。

教育長 子ども会を分断するといったことは考えていない。こういったことも踏まえて審議会の配慮事項に入れていく必要があると思っている。



吉田幹事 今年5月に実施されたアンケートでは、平成30年度22クラスということでしたが、それ以降の予測は？

そして、31年度以降の上限の数値の計算式、またその根拠は？

当初、URでは6000人の人口増加を見込んでいたようだが、30年度以降はどうなっていくのか？

教育長 現在高坂校区、桜山校区に住んでいる1～6歳の子どもをあてはめたもの、31年度以降はまだ生まれていないので予測は立てられない。住宅が増えていくと予測されるので、今後も子どもの数が増えていくと予測される。

吉田幹事 今起きている現実には到底熟慮の末の事とは思えません。子供によっては、急激な環境の変化や人間関係の変化に慣れづらい、適応しづらい子供もいます。そんな子供たちをどうするのか。仲の良かった友達と引き裂かれる子供たちの行き場の失った心をどうしてくれるのか。低学年の子供たちは、近くの学校に行けず、遠くの学校に不慣れな道を通学することになり、朝は通学班で登校するが、帰りは距離も遠くなり、子供たちに及ぼす影響も大きいし、家庭においてもその不安は大きなものです。

桜山小の子供たちも含め、双方の環境の劇的変化によって起こりうる、イジメ、不登校、仲間外れ、派閥争いなど、子供たちにとって重大な事態を引き起こす可能性が非常に高いです。

教育長 当然ながら、そういうことが起こらないように、支援や配慮を考えていきたいと思っている。学校を変わるという子ども達への配慮も当然ながら考えている。

吉田幹事 そこで伺います。子供たちにとって、その家庭にとって負わされるリスク、何よりも子供たちの心について有識者などを交えた検討会は当然のごとく開かれてきた結果、平成26年という年が決まったのだと思いますが、高坂小については、いつ頃から、どのくらいの時間をかけて、検討会などが開かれてきたのか？どんな内容であったのか？結果はどうであったのか？具体的に、明瞭にお答えください。

教育長 当初、白山中の小規模化について対応検討であった。だが、昨年度高坂地区が増えてきているとの事態が分かった。高坂小についての検討は昨年度から行われた。

内容は、教室の問題が出てきたため、通学区の見直しをする必要がでたので、審議会にかけ、自治会、各PTAと意見をお伺いして検討している。

## 一般の方からの質問

### ① (1年3年母) 後本宿

質問者 4年前に、東京から埼玉県(主人の実家)に引っ越してきた。

入学して、途中で変わるのはいくつか。新学年の時に変えるのではだめか。

教育委員会からしてみれば、桜山小が少なく、高坂小はピオニができ、人数が増えてきたからというが、子供に対してよく考えてほしい。家を買ったのに、途中で変わるのはいくつか。

新一年生に上がる時に変わるものであればまだいいかもしれない。(途中よりは)

まだ決まっていないが、もし東西で分けるのであれば、私の家は埋め立て地の近くに住んでいるので、通学が遠くなる。(3倍くらい)

慣れた道で、近い学校がいい。

毎日、寝るのが遅くなってしまいます。(遠いため、帰りも遅くなる。帰ってから宿題等やるので変わってしまったら、朝も早くなり、夜も遅くなる。

ガスト近くの方は、桜山小の方が近いかもしれないし、入学した児童には自由に選ぶ権利がほしい。言葉だけでなく、行動を起こして、親、子供一人一人の意見を聞いてほしい。

教育長 そういう意見も含めて、審議会で決めていきたいと思っている。

新一年生からというお話があったが、新一年生からだと、通学面が不安になる。

例えば、一年生は桜山小、隣の2年生は高坂小となってしまうと、登校はもちろん、下校も一人になってしまう等。

メリット、デメリットを考えながら、決めていかなければならないと思う。

### ② (5年2年父) 毛塚

質問者 H23～問題が出てきたと言っていたが、議会の議事録等を見ると11年前から話があった。

なぜ今高坂小だけ?(桜山・白山は今まで何度も要望を出しているのに検討されてこなかった)

高坂で誰かが校区を変えてくれと言っているのか?

教育長 就任時、白山中の問題として、引き継ぎを受けていた。毎年、桜山小、白山中と話し合いをして

きた。H22年度までは、少ない良さもあるので、このままでという話をした。部活が少ない、クラス替えができないという意見はあった。H23年度になり、その前から段々増えてくるという事がわかってきた。教室数が足らなくなる等の問題もあり、両校にとって、いい方法は、ということで、検討に入った。

質問者 審議会で資料を精査して校区の見直しするかしないかを決めると言っていたが、その資料が私意的なものにならないのか。誰がチェックするのか。今までの資料を現状では、現状ではと今ある数字を否定するような話をしているが、審議会(24日)では今ある数字ではないか。

教育長 今のデータを元に将来推計を出す事しかできない。その中の数字でも教室が足らなくなる見込みがあると判断した。

質問者 人口増加について（ピオニの方は）賃貸物件が多く、今出てきている数字も確定ではないのでは。

実際に、入西の方では、見込んだ半分位しか行かなかったという例もあり、人口が増えることは考えにくい。

教育長 その通りだと思うが、データとして示すのは、今の実際の数字しかない。これから入ってくる人をある程度予測は出来るが、アバウトなものになってしまう。減ることも考えられるし、増えることも考えられる。あくまでも、今の数字で示した。

質問者 人が増えるのは仕方がないと言うが、教育委員長は、就任されたときに（H22）学習者（子ども）が主体と言っていた。それについては。

教育長 子どもたちにとって何がいいのか。どうしたらいいのかを事務局として考えている。子どものことを考えていないということではない。子どもが増え教室が足らなくなるというおそれのなかで、何が子ども達にとっていいのか考えている。子どもたちのために、教育環境を考えて見直しをするべきと考えている。

質問者 大人の思惑で、子供たちがかき乱されることのないように願いたい。

（次の）審議会の前に、説明会を開いてくれるか。資料やアンケートの生の声など、審議会で検討してくれるのか。

教育長 今後、（審議会の）その都度は考えていない。PTA代表や校長から審議会の様子を聞いていただきたい。資料などは、審議委員が持って来て、審議会で了解して頂ければ可能である。

### ③（6年新1年祖母）西本宿

質問者 意見としては、反対でも賛成でもどちらでもない。今の段階で、決まっていることは何かを開きたい。

教育長 審議会メンバー、諮問事項を決定した。諮問事項は、教育委員会で決めること。教育委員会からの答申を受け決定していく。それが最終であり、議会にはかけない。教育委員会の先決事項。教育委員会としては、審議会に資料を持って見直しを検討して頂きたいと話をする。

質問者 今後の見通しは？

タイムスケジュールを大まかでいいので教えてほしい。H26年度は難しいのでは？

何も決まっていない中で、このまま2回審議会で決定してしまうのは不安。ぜひ丁寧に審議をしてもらいたい。

教育長 あまり長引かせず、29年度に教室がいっぱいになると予想されるので、少人数制学習のことも考えて、（H26年度）この位がいいのではないかと思う。

質問者 配慮事項（例えば初年度選択制など）はありがたいと思った。配慮事項等、柔軟に対応してほ

しい。そして、今後については、説明会は呼ばれたから来るとういではなく、教育委員会の方から、是非説明に来てほしいと思います。

教育長 教育委員会で議決をして決定した内容については説明する。途中の段階ではない。各地区にこちらから説明に伺います。

#### ④（5年2年1年父）正代

質問者 決まってから皆に説明に行くと言ったが、みんなで決めていくことでは？

（審議会）メンバーに、地域の人やPTAをもっと入れるべき。少人数のことについては、1教室に2人先生を付ければ、いいのではないか。教室が足らなくなるという事はないのでは。少年団野球のコーチをしている。通学区域の線引きをされると、入団者が減り、存続が難しくなる。

教育長 東松山市通学区域審議会条例の中でメンバーは決められている。1号委員から5号委員。議会（東松山市）で決まっていることである。

現在、桜山や白山では逆の事が（減少）起こっている。一つ何かを変えるということは、また他に何か問題が起きる。というのは仕方がないことだと思う。少年団については、少年団としての形、やり方を今後考えていくことになるのではないかと思う。余計事ですが・・・

#### ⑤宮永顧問より

審議会は、校区変更ありきで進めていってほしくない。高小の生の声を聞いて、これからどのようにしていくか。というところから、進めてほしい。

#### ⑥（5年母）正代

質問者 見直しは、決まっているのか？アンケートは沢山しているが、どのアンケートにもあるのかないのが載っていない。

教育長 今の段階では決まっていない。

質問者 9月に諮問内容が決定されて、それを受け10/24審議会になるなら、その内容と今の状況を教えてほしい。

教育長 諮問事項は

高坂小の増加が見込まれ、教室数が足りなくなり、さらに桜山小・白山中の小規模化が今後も見込まれるため、高坂小、桜山小、白山中、南中の通学区域の変更について意見を求める。審議会の答申を求める。

教育長 変更については、審議会の結果、やらないという事もある。決まっていなくても、今の状況から必要ということで、審議会へ行く。変更をしないのであれば、現状をどうするか、決めていくことになる。

質問者 第1回目の審議会で決まるのか？

教育長 決める。

⑦（3年5年母）毛塚

質問者 東口の整備事業で人数が増えたかと思うが、高坂小の改築が計画不足だったのではないか。

教育長 当然考えていたが、予想以上に増えてきたという事で、見通しが甘かった。

質問者 地区によっては、関わりがあまりなければ、無関心なので、アンケート（無作為）の意味はなかったのでは。子ども達の部活や受験、兄弟で別の学校にということも想定される。学校の規模や人数だけで検討されるのは子ども達の将来を考えていない。審議する内容をこれから考えていくという事に違和感をおぼえる。審議会メンバーに以前教育委員会所属している方も入っているので、教育委員会寄りにはならないか？市長にも是非声を届けてほしい。

審議会での決定事項をするしないに関わらず、最終的に市長が判断すると聞いているので、地元の声を市長に届けたい（署名活動等）。

教育長 市長が最終決定ではない。教育委員会が決めることである。決定権は教育委員会にある。政治問題ではない。教育問題である。

質問者 教育委員会で決定したことには、従わなくていけないということでしょうか？

公平ではない。みんなの意見が反映されていない。実際そういう方向性で動いている方達が協議するという事は、決定ありきのちゃばんに思える。

教育長 システム的には、審議会に諮って、答申をいただき決定していく。勝手に決めるのではない。

質問者 審議会の内容を全て開示してほしい。開かれた審議にしていきたい。

教育長 （内容について）請求があれば、当然開示する。

教育委員会が勝手に決めるのではなく、審議会で決めること。また、市長が決めることではない。最終的には教育委員会が責任を持って決める。

⑧（4年3年父）元宿

質問者 教育委員長の任期は？

教育長 H26年3月31日までです。

⑨（4年児童 女）元宿

質問者 どうして大人の意見ばかりで、子供の意見は聞かないのですか？

教育長 大人が知恵を出し合って決めることもあると思ってください。

⑩（４年１年母）元宿

質問者 皆が言っているのは、日常が変わることによる不安からの意見だと思う。今までの話を聞いて、あまり配慮がなされていないように思う。親も子どもも環境が変わることへの不安はあると思うので、そういった事も配慮して意見が聞けるシステムにしていきたい。

（無作為アンケートについて）何をもって、300がいいと言うのか、わからない。

教育長 可能な限り配慮したいと考えているが、全ての人に対して、配慮はできない。人により、そうでない人もいる。考えていく中で、その次の配慮を考えて、進んでいくことが現状を打破することになると思う。

⑪司会 齋藤より

300に対して、もっと精査が必要だったのでは？

教育長 配布300ずつに対し、350有効回収。丘陵地区は140弱、高坂地区は210強の回収でした。

⑫（２年父）あずま町

質問者 学区変更をしないですむ方法を今まで検討したことがあるのか？

教育長 変更しないで済む方法もあるが、コストがかかる。（プレハブを建てる等）  
桜山小は空いているので、そういう面では、コストは低い。